

むかわ町
穂別博物館報

第40号

令和4（2022）年度版

むかわ町穂別博物館

目 次

第Ⅰ章	展示活動	----- (p. 1)
第Ⅱ章	教育普及活動	----- (p. 3)
第Ⅲ章	調査研究活動ほか	----- (p. 11)
第Ⅳ章	資料収集保存活動	----- (p. 14)
第Ⅴ章	広報活動	----- (p. 20)
第Ⅵ章	管理・運営	----- (p. 24)
第Ⅶ章	観覧者状況	----- (p. 31)
第Ⅷ章	施設の沿革	----- (p. 33)
第Ⅸ章	施設の概要	----- (p. 37)

第Ⅰ章 展示活動

I－1 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示資料】

令和5（2023）年3月31日現在 ※：レプリカ含む

展示資料数：445点

化石（402）

中生代（369）

脊椎動物（43）：魚類（10）、爬虫類（33）（恐竜4※、長頸竜7※、モササウルス12※、ウミガメ7※、
陸生カメ1、翼竜2※）

軟体動物（298）：頭足類（237）、腹足類（10）、斧足類（50）、掘足類（1）

その他動物（14）：節足動物（5）、棘皮動物（6）、刺胞動物（3）

植物（13）

生痕化石（1）

新生代（33）

脊椎動物（6）：魚類（2）、哺乳類（4）（クジラ1、束柱類3※）

軟体動物（21）：腹足類（6）、斧足類（12）、掘足類（3）

その他動物（3）：節足動物（3）

植物（3）

現生生物（11）

脊椎動物（3）：爬虫類（カメ3）

軟体動物（2）：頭足類2

その他動物（5）：節足動物1、棘皮動物2、刺胞動物2

植物（1）

岩石・鉱物（30）

その他模型（2）（地形1、「白亜紀の海」ジオラマ1）

【常設展示の変更等】

令和4（2022）年7月12日 「スコッティ」貸出・サウロロフス頭骨化石（モンゴル国産恐竜化石）の設置

令和4（2022）年11月14日・15日 ホベツアラキリュウ全身復元骨格入替（「貸出用骨格」を仮に設置）

協力：有限会社ゴビサポートジャパン

令和5（2023）年2月27日 ホベツアラキリュウ全身復元骨格入替（修正済の骨格を再設置）協力：有限会社ゴビサポートジャパン

令和5（2023）年6月28日 「スコッティ」再設置、サウロロフス頭骨化石の返却



穂別博物館 入口ホール



穂別博物館 常設展示室

I-2 企画展等

【町民文化祭出展】

名称：「第 65 回穂別地区町民文化祭」

会期：令和 4（2022）年 10 月 27 日・29 日

会場：穂別町民センター

内容：(YouTube など公開済み) 制作動画 (16 点)
出展



町民文化祭出展 (22.10.27-29)

第Ⅱ章 教育普及活動

※利用者の区分は以下のとおり

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

Ⅱ－１ 博物館事業

(穂別博物館の主催・共催事業)

【むかわ町子ども化石くらぶ(ハドロキッズチーム)】

＜令和４年度の概要＞

会員

５・６年生：７名

３・４年生：２０名

内容

全７回のほか、補習２回、オンライン相談２回、ポスター発表展を実施。

＜第１回＞

日程：令和４（２０２２）年５月２２日（日）

内容：オリエンテーションほか

会場：穂別博物館 展示室・収蔵庫ほか

参加者

午前 ５・６年生：７名

午後 ３・４年生：１９名

対応

博物館職員等：西村、阿部、吉川

役場職員等：長谷川孝雄教育長、加藤英樹室長、
太田晶主任

博物館ボランティア：村上・中野・星野

卒業生ボランティア：遠藤・山下

＜卒業生ボランティア研修＞

日程：令和４（２０２２）年５月２８日（土）

内容：化石採集研修

会場：町内河川

参加者：山下

対応

博物館職員等：西村・阿部

＜第２回＞

日程：令和４（２０２２）年６月１２日（日）

内容：カムイサウルス産地化石採集

会場：カムイサウルス産出地

参加者

午前 ５・６年生：７名

午後 ３・４年生：１８名

対応：

博物館職員等：西村学芸員、阿部、吉川

役場職員等：太田

＜卒業生ボランティア研修＞

日程：令和４（２０２２）年６月１８日（土）

内容：化石採集研修

会場：町内河川

参加者：山下

対応

博物館職員等：西村・阿部

＜第３回＞

日程：令和４（２０２２）年７月１０日（日）

内容：化石採集

会場：下記のとおり

参加者

午前 ５・６年生：７名（町内河川）

午後 ３・４年生：１８名（学習用地）

対応

博物館職員等：西村・阿部・吉川・太田晶主任
(むかわ町役場)

博物館ボランティア：中野

卒業生ボランティア：遠藤・山下・山口

＜第４回①＞

日程：令和４（２０２２）年９月３日（土）

内容：化石採集

会場：町内河川

参加者

午前・午後 ５・６年生：５名

対応

博物館職員等：西村、阿部、吉川

役場職員等：太田

博物館ボランティア：杉浦

卒業生ボランティア：遠藤

その他ボランティア：前田敏仁主査（むかわ町役場）

博物館実習生：堤、川本

＜第４回②＞

日程：令和４（２０２２）年９月４日（日）

内容：化石採集

会場：町内河川

参加者

午前 ３・４年生：１６名

対応

博物館職員等：西村、阿部、吉川

役場職員等：太田

博物館実習生：堤、川本

＜第５回＞

日程：令和４（２０２２）年１０月１６日（日）

内容：外部講師による講演（二枚貝実習・講演）

講師：大野照文（高田短期大学特任教授 京都大学名誉教授）

会場：穂別町民センター

参加者

午前 ５・６年生：７名

午後 ３・４年生：１７名

対応

博物館職員等：西村、阿部、吉川

役場職員等：太田

博物館ボランティア：村上・星野・中野

卒業生ボランティア：遠藤・山下

＜第 6 回＞

日程：令和 4（2022）年 11 月 27 日（日）

内容：室内実習・講演、課題のポスター製作についての説明

講師：西村

会場：穂別町民センター

参加者

午前 5・6 年生：6 名

午後 3・4 年生：16 名

対応

博物館職員等：西村、阿部、吉川

役場職員等：太田

博物館ボランティア：村上・中野

卒業生ボランティア：遠藤・山下

＜補習＞

①令和 4（2022）年 12 月 25 日（日）

参加者 計 3 名（午前 3・午後 1）

②令和 5（2023）年 1 月 8 日（日）

参加者 計 1 名（午前・午後 1）

＜ポスター制作オンライン相談＞

担当：西村

①令和 4（2022）年 12 月 24 日（土）

参加者 2 名

②令和 4（2022）年 12 月 28 日（水）

参加者 2 名

＜第 7 回＞

日程：令和 5（2023）年 2 月 26 日（日）

内容：ポスター発表会・修了式

会場：穂別町民センター

参加者

午前 5・6 年生：6 名

午後 3・4 年生：18 名

対応

博物館職員等：西村、阿部、吉川

役場職員等：太田

博物館ボランティア：中野・星野

卒業生ボランティア：山下

＜ポスター発表展＞

日程：令和 5（2023）年 2 月～

内容：会員・卒業生製作のポスター掲示

会場：穂別町民センター 2 階ロビー



むかわ町子ども化石くらぶ（22.6.12）



むかわ町子ども化石くらぶ（22.6.12）



むかわ町子ども化石くらぶ（22.9.3）

Ⅱ-2 運営協力等

【むかわ町内周遊ステッカーラリー】

主催：株式会社 JTB
期間：令和 4（2022）年 3 月 15 日～11 月 15 日
趣旨：集めたステッカーの枚数に応じて景品がもらえる、むかわ町内の対象施設として対応
内容：当館割り当てのステッカーおよび来館特典の配布（R03「むかわ町恐竜フェスタ」で作成のバッジ）

【HOKKAIDO LOVE! 道トクふりーぱす】

主催：NEXCO 東日本
期間：令和 4（2022）年 4 月 15 日～11 月 17 日
趣旨：「HOKKAIDO LOVE! 道トクふりーぱす」（期間中定額で高速道路が乗り降り自由）の利用者特典として対応
内容：観覧料の減額（大人 300 円→200 円、小人 100 円→50 円）

【まなぶんスクール 穂別博物館を見学してオリジナル恐竜新聞を作ろう！】

主催：道新販売所青年会、道新販売所日高地区会
日時：令和 4（2022）年 7 月 10 日
内容：穂別博物館 展示見学・収蔵庫見学・作業場見学
参加者：小 6・大 11

【特別展 恐竜ワールド】

主催：企画展開催実行委員会（旭川市教育委員会ほか）
会場：旭川市科学館（北海道旭川市）
期間：令和 4（2022）年 7 月 16 日～9 月 25 日
内容：展示協力
対応：カムイサウルス全身復元骨格レプリカ（2 号機）の貸出、発掘調査道具の貸出

【恐竜・化石カード&マップ】

主催：北海道恐竜・化石ネットワーク研究会
期間：令和 4（2022）年 7 月 17 日～8 月 21 日
趣旨：ネットワーク研究会の加盟館の利用促進と北海道産化石の普及
対応：マップの配布、化石カード（ホベツアラキリュウ）の配布

【第 3 回 みんなの恐竜コンテスト】

主催：株式会社 KADOKAWA
期間：令和 4（2022）年 7 月 14 日～9 月 12 日
趣旨：カムイサウルスほか古生物の周知
内容：株式会社 KADOKAWA 出版の「骨ぬりえ」に収録されている「カムイサウルス骨ぬりえ」の配

布、コンテストへの応募を周知

【公共交通でぐるっと！ LOVE LOVE 北海道ビンゴスタンプラリー】

主催：北海道鉄道活性化協議会
期間：令和 4 年 8 月 11 日～令和 5 年 1 月 20 日
趣旨：道内公共交通利用促進を目的とした、道内周遊型イベント
内容：ポスター、チラシの掲示

【むかわ町恐竜フェスタ 2022】

「V×R ダイナソー」（ステージイベント）
主催：むかわ町
運営：凸版印刷株式会社
会期：令和 4 年 11 月 5 日 13:00-13:30・14:30-15:00、6 日 10:30-11:00・11:30-12:00 計 4 回
内容：カムイサウルス、ホベツアラキリュウ、フォスフォロサウルス、ティラノサウルス「スコッティ」の全身復元骨格の 3D データを用いて、化石を紹介する。
参加人数：1 回 30～40 人ほど、計 130～140 人（低年齢の子ども連れ親子が中心）



「特別展 恐竜ワールド」（旭川市科学館）



恐竜フェスタ 2022「V×R ダイナソー」（22.11.6）

Ⅱ-3 出前講座等

令和4(2022)年5月19日 室蘭工業大学「胆振学入門」(前期)＜講義＞ 大107(櫻井対応)

令和4(2022)年7月1日 苫小牧市立樽前小学校(中学年)「親子活動」＜講義＞ 小10・大10(櫻井対応)

令和4(2022)年7月14日 室蘭工業大学「胆振学入門」(後期)＜講義＞ 大105(櫻井対応)

令和4(2022)年8月3日 特定非営利活動法人子ども支援ホーム「学童保育じゃんぷ」＜講義・骨ぬりえ＞ 文教台クラブ(小3・4年:小12・大2)・大麻泉クラブ(小1・2年:小36・大3)

令和4(2022)年11月4日 札幌大学 教員発案型授業 B「地域資源としてのカムイサウルス」＜講義＞ 大42(櫻井対応)



室蘭工業大学「胆振学入門」(22.7.24)



学童保育じゃんぷ出前講座 (22.8.3)

Ⅱ-4 見学対応等

Ⅱ-4-1 教育・普及

【町内学校・教育関係団体】

令和4(2022)年4月20日／北海道穂別高等学校 1年町内探検ウォークラリー／展示見学／小6・大1

令和4(2022)年5月18日／むかわ町立穂別小学校 2年「町外研修」／展示見学／小12・大1

令和4(2022)年5月21日／北海道鶴川高等学校 恐竜研究同好会／展示見学／小6・大2

令和4(2022)年6月1日／むかわ町立鶴川中学校 1年「むかわ学」／講義(出前授業・鶴川中学校)／小41・大6

令和4(2022)年6月7日／むかわ町立鶴川中学校 1年「むかわ学」／展示見学・化石発掘体験(学習用地)／小41・大6

令和4(2022)年6月21日／北海道鶴川高校 1年「むかわ学」／展示見学・化石発掘体験(学習用地)／小50・大7

令和4(2022)年6月25日／むかこみゅ事業 Enjoy Saturday「化石発掘ほりほりツアー教室 in 穂別」／展示見学・化石発掘体験(学習用地)／小24・大5

令和4(2022)年7月13日／むかわ町立穂別小学校 4年「総合学習」／展示見学／小13・大2

令和4(2022)年7月15日／むかわ町立宮戸小学校 3・4／展示見学・質問対応・レプリカづくり／小3・大2

令和4(2022)年8月24日／むかわ町ふれあい大学基本講座「恐竜学習」／展示見学／大4

令和4(2022)年9月4日／北海道鶴川高等学校 地域みらい留学 365 事業希望家族／展示見学／小2・大5

令和4(2022)年9月8日／むかわ町立穂別小学校 4年「総合学習」／化石採集(学習用地)／小13・大3

令和4(2022)年9月13日／むかわ町立穂別小学校 4年「総合学習」／化石クリーニング・レプリカづくり(出前授業・穂別小学校)／小12・大5

令和4(2022)年9月14日／北海道穂別高等学校 1年「バス見学会」／展示見学・化石クリーニング・化石採集(学習用地)／小7・大4

令和4(2022)年9月18日／北海道鶴川高等学校 恐竜研究同好会「化石発掘巡検」／化石採集(野外) 小4 大2 (実施協力)

令和4(2022)年10月6日／北海道穂別高等学校「地学基礎」／レプリカ作り／講話「穂別の化石と岩石」(穂別高校)／午前1年生(小7・大4)、午後3年生(小9・大1)

令和4(2022)年10月7日／むかわ町教育研究会(総合サークル)／レプリカづくり・収蔵庫見学・展示見学・化石採集(学習用地)／大4

令和 4 (2022) 年 10 月 13 日／小中校一貫プログラム (事前学習)／展示見学・レプリカアクセサリーづくり／小 23・大 6 (穂別中 1 年 17 人・大 4、穂別高 1 年 6 人・大 2)

令和 4 (2022) 年 10 月 16 日／北海道鶴川高等学校 地域みらい留学事業／展示見学／小 1・大 2

10/18-20 穂別高校 2 年インターンシップ 小 1

令和 4 (2022) 年 10 月 27 日／小中校一貫プログラム (リハーサル)／展示見学・レプリカアクセサリーづくり／小 20・大 7 (穂別中 1 年 14 人・大 5、穂別高 1 年 6 人・大 2)

令和 4 (2022) 年 10 月 28 日／小中校一貫プログラム (本番)／展示見学・レプリカアクセサリーづくり／小 25・大 8 (穂別小 3 年 6 人・大 2、穂別中 1 年 8 人、穂別高 1 年 11 人)

令和 4 (2022) 年 10 月 29 日／むかこみゅ事業 Enjoy Saturday「恐竜&化石ツアー教室 in 穂別」／午前：展示見学・収蔵庫見学・レプリカづくり・カムイサウルスの歯をさがそう、小 24・大 4 (小学生 19、高校生 5、保護者 2、引率 2) 午後：展示見学・レプリカづくり・骨ぬりえ、幼児 7・小 5・大 7 (幼児 7、高校生 5、保護者 5、引率 2)

令和 4 (2022) 年 11 月 10 日／放課後子ども教室「化石レプリカづくり教室①」(鶴川中央小学校)／化石の話・化石レプリカづくり／小 6 (鶴川中央小 1 年・3 年)・大 2

令和 4 (2022) 年 11 月 17 日／放課後子ども教室「化石レプリカづくり教室②」(鶴川中央小学校)／化石の話・化石レプリカづくり／小 19 (鶴川中央小 2 年)・大 2

令和 4 (2022) 年 12 月 8 日／むかわ町教育研究会 理科部会／化石採集 (学習用地)・展示見学／大 2

令和 4 (2022) 年 12 月 14 日／北海道穂別高等学校 2 年生／写真撮影 (インターハイ北海道大会 PR 用)／小 7・大 3

令和 4 (2022) 年 12 月 15 日／むかわ町立鶴川中央小学校 3 年／化石の話 (出前授業・鶴川中央小学校)／小 23・大 3



宮戸小 3・4 年生 (22.7.15)



穂別小学校 4 年生「化石学習」(22.9.13)



穂別高校 1 年「バス見学会」(22.9.14)



鶴川中 1 年「むかわ学」(22.6.7)



穂別高校 3 年「地学基礎」(22.10.6)

【町内各種団体】

対応なし



小中校一貫体験型プログラム (22.10.28)



放課後子ども教室 (22.11.17)

【町外団体の利用】

令和 4 (2022) 年 7 月 17 日／市立札幌藻岩高等学校
校フィールドサイエンス部／展示見学・地層観察
／小 2・大 1

令和 4 (2022) 年 8 月 2 日／奈良県高等学校理化学
会地学部会／展示見学／大 4

令和 4 (2022) 年 8 月 5 日／日本理化学協会・日本
生物教育会全国大会 巡検 C コース／展示見学・
収蔵庫見学・化石発掘体験（発掘現場）・化石レプ
リカづくり・講義／大 12（引率 2 含む）

令和 4 (2022) 年 8 月 20 日／北海道文化財保護協
会 令和 4 年度親子化石発掘体験ツアー／展示見
学・収蔵庫見学・化石発掘体験（学習用地）／小 9・
大 16

令和 4 (2022) 年 9 月 10 日／北広島市エコミュ
ージアムセンター 知新の駅「まちをすきになる市
民大学」／展示見学／大 15

令和 4 (2022) 年 9 月 14 日／名古屋大学地質巡検
／展示室・収蔵庫案内／大 7・引 1（西村）

令和 4 (2022) 年 10 月 15 日／令和 4 年度 胆振地
域子ども会リーダー交流会／講話（穂別町民セン
ター）・展示案内（博物館展示室）／小 24・大 15



日本理化学協会・日本生物教育会全国大会（22.8.5）



胆振地域子ども会リーダー交流会（22.10.15）

Ⅱ-4-2 視察・取材等

【視察等】

令和 4 (2022) 年 4 月 14 日／前田悠図（地域活性
化企業人 BnA 株式会社）ほか／展示視察／大 2

令和 4 (2022) 年 4 月 20 日／長谷川孝雄（むかわ
町教育長ほか：むかわ公営塾塾長等）／展示視察／
大 3

令和 4 (2022) 年 4 月 20 日／吉田直司（むかわ町
経済建設課長）ほか／展示視察／大 3

令和 4 (2022) 年 4 月 21 日／浦河町議会議員／展
示視察／大 7

令和 4 (2022) 年 4 月 21 日／島田昌幸（株式会社
ONE TABLE・むかわ町地域力創造アドバイザー）
ほか／展示視察ほか／大 5

令和 4 (2022) 年 4 月 21 日／金野英津子（むかわ
町応援 PR 大使）ほか／展示視察／大 3

令和 4 (2022) 年 5 月 11 日／北海道文化財保護協
会／展示視察／大 2

令和 4 (2022) 年 5 月 18 日／凸版印刷株式会社／
展示視察／大 4

令和 4 (2022) 年 5 月 18 日／前田悠図（BnA 株式
会社）／展示視察／大 1

令和 4 (2022) 年 5 月 19 日／和田弘之（北海道総
合政策部地域創生局長）ほか／展示視察／大 8

令和 4 (2022) 年 5 月 22 日／松井孝典（千葉工業
大学学長：マザーズフォレスト）／展示視察／大 1

令和 4 (2022) 年 5 月 22 日／井上恭子（ハート・
オブ・ゴールド本部事務局次長：マザーズフォレス
ト）／展示視察／大 1

令和 4 (2022) 年 6 月 13 日／島田昌幸（株式会社
ONE TABLE）ほか／展示視察ほか／大 5

令和 4 (2022) 年 6 月 27 日／田原弘義（丹波市教
育委員会教育部恐竜課長）・丹波竜化石工房／展示
視察／大 4

令和 4 (2022) 年 9 月 5 日／山本博一（桐生大学・
桐生大学短期大学部 教授）ほか／展示視察／大 5

令和 4 (2022) 年 9 月 8 日／ジャパンケーブルキャ
スト株式会社ほか／展示視察／大 7

令和 4 (2022) 年 10 月 8 日／山田英也（農林水産
省 北海道農政事務所 所長）、竹内正信（国立研
究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 所長）、
藤原俊之（北海道総務部長 兼 北方領土対策本
部長）、濱田知子（北海道石狩振興局 振興局長）
ほか／展示視察／大 8

令和 4 (2022) 年 10 月 19 日／川嶋賢一・菊地大輔
（合同会社 DMM.com）ほか／展示視察／大 3

令和 4 (2022) 年 10 月 23 日／圓谷昂史・久保見幸・
成田敦史（北海道博物館）／展示視察／大 3

令和 4 (2022) 年 10 月 27 日／川辺英行（旭川市科
学館 主査）ほか／展示視察／大 2

令和 4 (2022) 年 10 月 28 日／鷹栖市民生委員児童
委員協議会／大 18

令和 4 (2022) 年 11 月 2 日／森林所有者（引率：胆

振総合振興局森林室 普及課) 大 18
 令和 4 (2022) 年 11 月 5 日/東胆振地域ブランド
 創造協議会/大 6
 令和 4 (2022) 年 11 月 16 日/NPO 法人十勝キ
 ムンカムイの森/大 11
 令和 4 (2022) 年 11 月 2 日/森林所有者(引率:胆
 振総合振興局森林室 普及課 川西かおり普及推
 進係長)/展示視察/大 18
 令和 4 (2022) 年 12 月 7 日/復興拠点施設等整備
 事業Ⅰ 関係業者/展示視察/大 19
 令和 5 (2023) 年 1 月 18 日/復興拠点施設等整備
 事業Ⅰ 関係業者(株式会社 ONE TABLE)/展
 示視察/大 3
 令和 5 (2023) 年 1 月 19 日/復興拠点施設等整備
 事業Ⅰ 関係業者(株式会社 船場)/展示視察/
 大 3
 令和 5 (2023) 年 2 月 9 日/むかわカレッジ 2022
 事業 地域おこしインターン生/展示視察/大 3
 令和 5 (2023) 年 2 月 20 日/JTB モニターツアー
 /収蔵庫視察(プログラム開発)/大 8
 令和 5 (2023) 年 3 月 14 日/日活株式会社/展示
 視察/大 6/

【取材対応等】

令和 4 (2022) 年 4 月 11 日/HBC 北海道放送局/
 「今日ドキッ!」取材/香山リカ氏(穂別診療所
 中塚副所長)対応/大 3
 令和 4 (2022) 年 4 月 21 日/有限会社ノースメデ
 ィア/NHK「おはよう北海道」中「北海道遺産」
 取材/野外調査・化石クリーニング取材/大 2
 令和 4 (2022) 年 5 月 10 日/有限会社ノースメデ
 ィア/NHK「おはよう北海道」中「北海道遺産」
 取材/インタビュー/大 4
 令和 4 (2022) 年 5 月 10 日/株式会社ぶらんとマ
 ガジン社/雑誌 HO 取材/香山リカ氏(穂別診療
 所 中塚副所長)対応/大 3
 令和 4 (2022) 年 5 月 11 日/北海道新聞社/解説
 動画の撮影/大 1
 令和 4 (2022) 年 5 月 19 日/苫小牧民報社/紹介
 動画の撮影/大 1
 令和 4 (2022) 年 6 月 13 日/NHK エンタープライ
 ズ/「北海道」取材/大 3
 令和 4 (2022) 年 8 月 3 日/NHK ワールド/ゴビ
 サポート取材(カムイサウルス全身復元骨格取材)
 /大
 令和 4 (2022) 年 8 月 10 日/株式会社 AIR DO/
 カムイサウルス取材/大 2
 令和 4 (2022) 年 8 月 31 日/株式会社光文社「女
 性自身」編集部/「女性自身」取材(香山リカ氏(穂
 別診療所 中塚副所長))/大 3
 令和 4 (2022) 年 9 月 20 日/NHK 札幌放送局/
 NHK ほっとニュース北海道 道央いぶり DAY ひ
 だか「ななまる MAP」/大 3
 令和 4 (2022) 年 9 月 22 日/札幌テレビ放送株式
 会社/STV どさんこワイド「お仕事トコトン体験
 記」取材(野外調査・化石クリーニング:阿部・吉

川対応)/大 8
 令和 4 (2022) 年 9 月 23 日/札幌テレビ放送株式
 会社/STV どさんこワイド「お仕事トコトン体験
 記」取材(館内展示等)/大 3
 令和 4 (2022) 年 9 月 23 日/北海道放送株式会社
 /HBC「今日ドキッ!」内の「奈井江町ティラノ
 サウルスレースについてのコメント」取材/大 1
 令和 4 (2022) 年 10 月 21 日/浩而魅論(北海道新
 聞社)/展示資料の取材/大 1
 令和 5 (2023) 年 1 月 19 日/NHK エデュケーショ
 ナル/NHK「Japanology Plus」の収録/大 6
 令和 5 (2023) 年 2 月 7 日/NHK エンタープライ
 ズ/NHK ほっとニュース北海道 道央いぶり
 DAY ひだか「あったかい!胆振」の生中継/大 15
 令和 5 (2023) 年 2 月 17 日/産経新聞 編集局札
 幌支局 支局長 坂本隆浩/カムイサウルスほか
 取材/大 1

Ⅱ-5 職場体験

【北海道穂別高等学校インターンシップ】

対象:北海道穂別高等学校 2 年生:1 名
 期間:令和 4 (2022) 年 10 月 18 日・20 日
 内容:展示見学、化石発掘体験、化石クリーニン
 グ、レプリカ型作成、周辺清掃、内清掃、窓口業
 務、書類整理・資料整理 等



穂別高校インターンシップ

Ⅱ-6 博物館実習

【博物館実習(北海道大学)】

実習生:堤裕規、川本一陽(2 名)
 期間:令和 4 (2022) 年 8 月 30 日・9 月 4 日
 内容:化石くらぶ化石採集(10 月 31 日)の下見、
 および開催の手伝い。博物館展示の批評レポ
 ート制作。化石写真撮影。化石クリーニング、化
 石レプリカ型制作。

第Ⅲ章 調査研究活動ほか

Ⅲ-1 調査研究活動

【野外調査活動】 のべ 23 日間

西村：西村智弘（学芸員）
阿部：阿部恭子（学芸補助員）
吉川：吉川幸叙（学芸補助員）
中野：中野益年（博物館ボランティア）

令和 4（2022）年

4 月 7 日 西村・吉川・中野
4 月 14 日 阿部・吉川・中野
4 月 21 日 西村・吉川・中野
4 月 28 日 吉川・中野
5 月 20 日 吉川・中野
5 月 26 日 阿部・吉川
6 月 9 日 西村（AM）・阿部・吉川・中野
6 月 19 日・24 日 小平町周辺地質調査
（24 日は移動日）
西村・吉川（6/19-22 中野参加）
7 月 21 日 阿部・吉川・中野
8 月 26 日 西村・吉川（南夕張大型アンモナイト
発見① 半分採集）
8 月 28 日 西村・吉川（三笠市長谷川氏・深尾氏
の案内 南夕張大型アンモナイト回収②）
8 月 30 日 PM 西村（博物館実習生案内）
9 月 1 日 阿部・吉川・博物館実習生 2 名（南夕
張大型アンモナイト回収③）
9 月 12 日 吉川・中野
9 月 15 日 西村
9 月 17 日 西村
9 月 17 日 吉川
9 月 26 日 阿部・吉川・干場・中野
9 月 28 日 阿部・吉川・中野



野外調査 写真（22.9.26）

【化石クリーニング】

令和 5（2023）年 3 月 31 日 大型アンモナイト転
回作業（外部委託）



大型アンモナイト転回（23.3.31）

【資料分析調査（電子顕微鏡、CT 利用）】

令和 5（2023）年 1 月 11 日 西村対応（苫小牧市
テクノセンター）
令和 5（2023）年 3 月 3 日 西村対応（苫小牧市テ
クノセンター）
令和 5（2023）年 3 月 17 日 西村対応（苫小牧市
テクノセンター）

【収蔵資料関係調査】

西村対応

令和 5（2023）年 2 月 15 日・20 日 関西方面出張
2 月 15 日・16 日 大阪公立大学
2 月 17 日・18 日 大阪市立自然史博物館
2 月 19 日 標本観察・淡路島フィールド参加（ひ
とはく連携活動グループ兵庫古生物研究会）
2 月 20 日 移動日

【外部研究者への対応（古生物系）】

<カムイサウルス研究>

令和 4（2022）年 5 月 3 日・8 日 東祐大氏（北海道
大学大学院・修士 1 年）収蔵庫調査、野外地質調
査

令和 4（2022）年 6 月 8 日 清水洲平氏（北海道大
学大学院・博士後期課程）他 3 名：特別展示室の
カムイサウルスレプリカ 1 体目の大腿骨などの写
真撮影（取り外して撮影）

令和 4（2022）年 6 月 29 日・7 月 1 日 伊藤政矩氏
（北海道大学・学部 4 年）カムイサウルス歯観察

<首長竜ポリコティルス類研究>

学芸補助員・学芸員で補助＋骨化石の番号付け

令和 4（2022）年 9 月 9 日・11 日、16 日 AM 佐藤

たまき教授（神奈川大学）

令和 4（2022）年 9 月 9 日・10 日 新村龍也学芸員
（足寄動物化石博物館、3D モデル制作）

令和 5（2023）年 2 月 28 日・3 月 1 日 佐藤たまき
教授

＜脊椎動物化石研究＞

令和 4（2022）年 4 月 30 日 大野真緒氏・伊藤政
矩氏ほか計 4 名（北海道大学・学部 4 年生） 収
蔵庫見学・粒度表製作

＜野外地質調査＞

（北海道大学・北海道大学大学院生同行）

令和 4（2022）年 5 月 21・23・29・30 日 西村・
大野真緒氏・伊藤政矩氏・矢倉鉄平氏（学部 4 年
生）

令和 4（2022）年 6 月 4・5 日 西村・東祐大氏・
川本一陽氏（修士課程 1 年）令和 4（2022）年 6 月
29 日・7 月 1 日 大野真緒氏（当館魚類化石研究）
令和 4（2022）年 8 月 19 日、8 月 25 日・27 日 大
野真緒氏（魚類化石研究、8/25 は野外調査）

＜CT データ取得＞（苫小牧市テクノセンター）

令和 4（2022）6 月 15 日

東：当館メソダーモケリス化石（むかわ町天然記
念物）

大野：当館サメ化石撮影

西村：資料運搬・付き添い

＜花粉化石研究・野外地質調査＞

令和 4（2022）年 9 月 7 日・8 日 ルグラン・ジュリ
アン助教・学生（静岡大学）計 5 名（西村同行）



カムイサウルス調査（清水氏）（22.6.8）



ポリコティルス類研究（佐藤教授）（22.9.11）



野外地質調査（22.5.21）



野外地質調査（22.6.5）

Ⅲ-2 学会・研修会等への参加

【日本古生物学会】

行事名：2023 年第 172 回例会

会場：九州大学

参加者：西村

日程：令和 5（2023）年 2 月 3 日-5 日

備考：ハイブリッド開催

内容

- ①ポスター発表：東祐大（北海道大学大学院・修士 1 年）・西村智弘・小林快次・斎藤優里・太田晶，北海道後期白亜紀海成層産ハドロサウルス科恐竜類にみられる生物侵食。
- ②口頭発表：馬場美邑（静岡大学大学院・修士 2 年）・山田敏弘・西田治文・池田昌之・西村智弘・ルグラン＝ジュリアン，北海道蝦夷層群の花粉化石層序からみた白亜紀の植生変遷。

【北海道博物館協会】

行事名：第 60 回北海道博物館大会

会場：士別市

参加者：西村

日程：令和 4（2022）年 7 月 14 日

内容：ポスター発表「恐竜時代のイノセラムス科のキャラクター『いのせらたん』の教育・普及活動および評価」

【技術研修】

目的：化石クリーニング等情報交換・技能実習

参加者：西村・阿部・吉川・中野

日程：令和 4（2022）年 10 月 20 日-21 日

10 月 20 日 足寄動物化石群化石産地・足寄動物化石博物館

10 月 21 日 忠類ナウマンゾウ発掘地・忠類ナウマン象記念館

Ⅲ-3 研究報告の発行

【研究報告第 38 号】

発行日：令和 5（2023）年 3 月 1 日

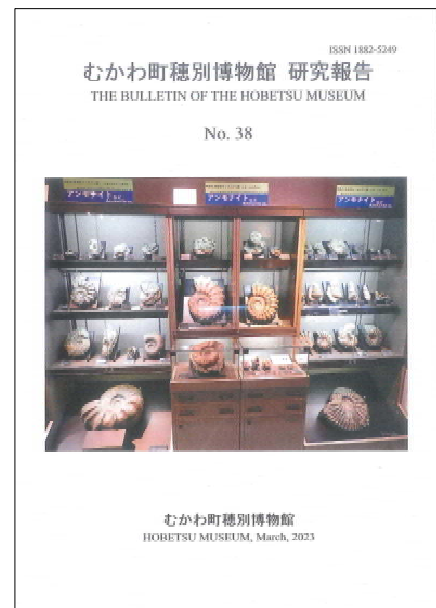
（web <http://www.town.mukawa.lg.jp/3389.htm>）

<原著論文>

松井久美子，哺乳類の歯を用いた研究活動体験型ワークショップの試行. p. 1-10

<資料>

西村智弘・中村正彦・阿部恭子・吉川幸叙，2022 年までのむかわ町穂別博物館における収蔵・展示資料の地震対策. p. 11-18



むかわ町穂別博物館研究報告（第 38 号）

第Ⅳ章 資料収集保存活動

Ⅳ- 1 登録資料等

【博物館登録資料数】

自然史系登録資料（HMG）＜地質・化石資料＞：2,411 点

自然系登録資料（HMB）＜現生動植物資料＞：167 点

人文系登録資料（HMC）＜民俗・歴史資料＞：3,761 点

計 6,339 点 （2023.3.31. 現在）

【タイプ等】

HMG-12 : *Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 のホロタイプ（新種）

HMG-387 : *Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 のホロタイプ（新種）

HMG-5 : *Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 のホロタイプ（新属新種）

HMG-1065 : *Mosasaurus prismaticus* Sakurai et al., 1999 のホロタイプ（新種）

HMG-1056 : *Anomalochelys angulata* Hirayama et al., 2001 のホロタイプ（新属新種）

HMG-1573 : *Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ（新種）

（パラタイプ：HMG-134、HMG-1592）

HMG-1587a,b,c,d : *Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ・パラタイプ（新種）

HMG-136 : *Anagaudryceras compressum* Shigeta and Nishimura, 2014 のホロタイプ（新種）

（パラタイプ：HMG-1594、HMG-1595、HMG-1596、HMG-1597、HMG-1626）

HMG-1528 : *Phosphorosaurus ponpetelegans* Konishi et al., 2016 のホロタイプ（新種）

HMG-1660 : *Didymoceras hidakense* Shigeta, 2016 のホロタイプ（新種）

（パラタイプ：HMG-1661、HMG-1662、HMG-1663、HMG-1664、HMG-1665、HMG-1666）

HMG-1848 : *Neophylloceras nodosum* Shigeta, 2019 のホロタイプ（新種）

HMG-1913 : *Menuites armatus* Shigeta, 2019 のホロタイプ（新種）

HMG-1955 : *Parasolenoceras ribiraense* Shigeta, 2019 のホロタイプ（新種）

（パラタイプ：HMG-1956, 1957）

HMG-1219 : *Kamuysaurus japonicus* Kobayashi et al., 2019 のホロタイプ（新属新種）

【むかわ町指定文化財】

登録番号第 4 号：フォスフォロサウルス・ボンペテレガンス *Phosphorosaurus ponpetelegans*（平成 29 年 4 月 1 日指定）

登録番号第 5 号：モササウルス・ホベツエンシス *Mosasaurus hobetsuensis*（平成 29 年 4 月 1 日指定）

登録番号第 6 号：メソダーモケリス・ウンデュラータス *Mesodermochelys undulatus*（平成 29 年 4 月 1 日指定）

登録番号第 7 号：アノマロケリス・アングラータ *Anomalochelys angulata*（平成 29 年 4 月 1 日指定）

登録番号第 8 号：ティロサウルス（種未定）*Tylosaurus* sp.（平成 29 年 4 月 1 日指定）

登録番号第 9 号：モササウルス・プリズマティクス *Mosasaurus prismaticus*（平成 29 年 4 月 1 日指定）

登録番号第 10 号：ケントリオドン・ホベツ *Kentriodon hobetsu*（平成 29 年 4 月 1 日指定）

登録番号第 11 号：カムイサウルス・ジャポニクス *Kamuysaurus japonicus*（令和 2 年 8 月 27 日指定）

【北海道指定文化財】

登録番号第 34 号：ホベツアラキリュウ化石骨（HMG-1）（平成 29 年 9 月 29 日指定）

【北海道遺産】

登録番号第 64 号：「むかわ町穂別の古生物化石群」（平成 30 年 11 月 1 日認定）

IV-2 新規受入資料

【新規受入（寄贈）資料】 23 件

- 2022-001 アンモナイト (1) 岩田正敏 (札幌市)
2022-002 アンモナイト (11) 林敬晴 (苫小牧市、当館ボランティア)
2022-003 アンモナイト (1) 遠藤大騎 (浦河町、子ども化石くらぶボランティア)
2022-004 骨化石 (1) 上ヶ島正洋 (秩父別町)
2022-006 アンモナイト・イノセラムスほか (9) 大和治生 (札幌市)
2022-007 三葉虫 (15) 伊豆倉正孝 (札幌市)
2022-008 アンモナイト (1) 栗原健一 (むかわ町)
2022-009 大型アンモナイト (1) 深尾政之 (美唄市)・長谷川浩二 (三笠市)・岡島孝義 (三笠市)
2022-010 アンモナイト・笠形巻貝 (2) 大和治生 (札幌市)
2022-014 アンモナイト (3) 大和治生 (札幌市)
2022-015 大型アンモナイト (1) 深尾政之 (美唄市)・長谷川浩二 (三笠市)・岡島孝義 (三笠市)
2022-016 大型アンモナイト (1) 堀田良幸 (むかわ町穂別)
2022-017 大型アンモナイト (1) 堀田良幸 (むかわ町穂別)
2022-018 大型アンモナイト (1) 堀田良幸 (むかわ町穂別)
2022-019、020 アンモナイト (アマポンデラ *Amapondella*) (2) 伊豆倉正隆 (札幌市、当館ボランティア)
2022-021、022 アンモナイト (アマポンデラ *Amapondella*) (2) 故・窪田英 (札幌市)
2022-023 現生オウムガイ (4) 伊豆倉正隆
2022-024 大型アンモナイト (1) 遠藤大騎 (浦河町、むかわ町子ども化石くらぶ卒業生ボランティア)・松山拓史 (新ひだか町)
2022-025 アンモナイト (ノストセラス *Nostoceras*) (1) 故・村本喜久雄 (三笠市)
2022-026 勝田層群化石 (10) 岸本眞五 (姫路市)。
2022-027 アンモナイト (*Lytoceras?* sp.) (1) 伊豆倉正隆



2022-002 の 1 点



2022-006 の 1 点

IV-3 新規登録資料

【新規登録資料】 0 件

IV-4 収蔵資料の活用 (研究)

【貸出（研究）】 9 件

- (1) HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、HMG-1055 (ウミガメ化石) 5 点／平山廉教授 (早稲田大学)／平成 6(1994) 年 8 月 17 日－継続中
(2) HMG-1063、HMG-1064 (ウミガメ化石) 2 点／平山廉教授 (早稲田大学)／平成 7 (1995) 年 5 月 11 日－継続中
(3) HMG-1443、HMG-1444 (カサガイ付きアンモナイト) 2 点／加瀬友喜研究員 (国立科学博物館)／平成 21(2009) 年 7 月 9 日－継続中

- (4) HMG-0399 (アンモナイト) 1 点／前田晴良教授 (九州大学総合研究博物館)／平成 23 (2011) 年 10 月 17 日ー令和 4 (2022) 年 1 月 23 日
- (5) アンモナイト (2016-002、2016-003、2016-005、2016-007、2016-008) 計 5 点／前田晴良教授 (九州大学総合研究博物館)／平成 29 (2017) 年 11 月 1 日ー継続中
- (6) HMG-0041 (アンモナイト *Baculites rex*) 1 点／重田康成 (国立科学博物館)／平成 30 (2018) 年 7 月 10 日ー継続中
- (7) 令和 4 (2022) 年 8 月 3 日～11 月 30 日／カムイサウルス (HMG-1219 : J22-20-4、J22-21-1-1、14HD-9-8-47-2-3) 3 点／小林快次教授 (北海道大学総合博物館)
- (8) 令和 4 (2022) 年 8 月 15 日～令和 5 (2023) 年 8 月 14 日／アンモナイト *Ryuella* (2022-008) 1 点／三笠市立博物館
- (9) 令和 5 (2023) 年 3 月 30 日～令和 6 (2024) 年 3 月 30 日／ポリコティルス類歯化石 17 点 (HMG-1067)、クビナガリュウ化石? (2016-038)、クビナガリュウ化石 (2020-036)／佐藤たまき教授 (神奈川大学)

IV-5 収蔵資料の活用 (研究以外)

【貸出 (展示)】 9 件

- (1) 令和 4 (2022) 年 7 月 4 日～10 月 4 日／アンモナイト HMG-1992 (1 点)、カムイサウルス発掘調査時の資料 (ヘルメット 2 点、ハンマー 2 点、熊手 1 点、布皮手袋 1 組) 計 7 点／旭川市科学館「カムイサウルス全身骨格展示」にて展示／旭川市科学館
- (2) 令和 4 (2022) 年 7 月 11 日～9 月 10 日／ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格 1 体／「わけあって絶滅しました。展」(大阪南港 ATC ホール) にて展示／東映株式会社
- (3) 令和 4 (2022) 年 9 月 1 日～12 月 28 日／アンモナイト (HMG-1660、HMG-1710、HMG-2015、HMG-2017) 計 4 点／企画展「解き明かされる地球と生命の歴史・化学層序と年代測定」にて展示／独立行政法人 国立科学博物館
- (4) 令和 4 (2022) 年 11 月 7 日～令和 5 (2023) 年 1 月 13 日／カムイサウルス発掘調査解説パネル (データ提供)／「化石・鉱石フェア」(仮称) (江別蔦屋書店) にて展示／むかわ地域商社 株式会社 M Dino
- (5) 令和 4 (2022) 年 11 月 7 日～11 月 30 日／カムイサウルス看板、パーティション一式 (ポール、チェーン)／「恐竜ワールドむかわ展 in あびら」(道の駅「あびら D51 ステーション」、安平町「ぬくもりの湯 (ぬくもりセンター)」にて使用／むかわ地域商社 株式会社 M Dino
- (6) 令和 4 (2022) 年 11 月 8 日～11 月 28 日／ティ

- ラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格 1 体／「恐竜ワールドむかわ展 in あびら」(道の駅あびら D51 ステーション) にて展示／安平町
- (7) 令和 5 (2023) 1 月 1 日～12 月 31 日／アンモナイト (2019-009-01) 1 点、アンモナイト (2019-009-02) 1 点、ノジュール (HMG-1677) 1 点／むかわ町四季の館「ミニ博物館コーナー」にて展示／むかわ地域商社 株式会社 M Dino
- (8) 令和 5 (2023) 年 1 月 25 日～2 月 14 日／アンモナイト (2016-052-02) 1 点、カムイサウルス大腿骨レプリカ 1 点／第 73 回さっぽろ雪まつり「むかわ町 PR ブース」にて展示／むかわ恐竜ワールド創生実行委員会
- (9) 令和 5 (2023) 年 2 月 21 日～6 月 30 日／ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格 1 体／「恐竜博 2023」にて展示／国立科学博物館



【貸出（普及教育）】 9 件

- (1)令和 4（2022）年 4 月 10 日～16 日／化石クリーニング体験セット 10 組／鶴川高校新入生歓迎会にて使用／北海道鶴川高等学校恐竜研究同好会
- (2)令和 4（2022）年 5 月 20 日～22 日／園芸用シャベル 3 個／自然体験にて使用／穂別穂星寮
- (3)令和 4（2022）年 5 月 21 日／岩石ハンマー13 本、ゴーグル 13 個、化石クリーニング用道具 13 組／化石採集体験に使用／北海道鶴川高等学校恐竜研究同好会
- (4)令和 4（2022）年 8 月 5 日～8 日／岩石ハンマー 25 本、ゴーグル 25 個、ドライバー25 本／MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー（JTB）にて使用／むかわ町経済恐竜ワールド戦略室
- (5)令和 4（2022）年 8 月 12 日～15 日／岩石ハンマー25 本、ゴーグル 25 個、ドライバー25 本／MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー（JTB）にて使用／むかわ町経済恐竜ワールド戦略室
- (6)令和 4（2022）年 8 月 27 日～9 月 4 日／アンモナイトのレプリカ型 12 個、化石クリーニング用具一式 12 組／令和 4 年度北海道鶴川高等学校オープンキャンパスにて使用／北海道鶴川高等学校恐竜研究同好会
- (7)令和 4（2022）年 9 月 18 日／岩石ハンマー8 本、ゴーグル 8 個、タガネ 8 本／化石発掘巡検にて使用／北海道鶴川高等学校恐竜研究同好会
- (8)令和 4（2022）年 10 月 28 日～10 月 30 日／アクセサリ用シリコンレプリカ型 10 個、博物館記念スタンプ 6 個／むかわサイエンスフェス 2022 にて使用／RAYOCHI
- (9)令和 4（2022）年 10 月 29 日～11 月 5 日／アンモナイトレプリカ型 10 個／むかわサイエンスフェス 2022 にて使用／北海道鶴川高等学校恐竜研究同好会

【写真等提供（展示・出版・報道等）】 30 件

- (1)令和 4（2022）年 4 月 5 日許可／カムイサウルス発掘調査写真 1 点／小学校教科書「みらいをひらく 小学理科 6」に掲載／教育出版株式会社
- (2)令和 4（2022）年 4 月 6 日許可／カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1 点／「ドラえもんふしぎのサイエンス 恐竜のサイエンス」（中国語版）に使用／株式会社小学館
- (3)令和 4（2022）年 4 月 24 日許可／カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1 点／「北海道じゃらん 6 月号」に掲載／株式会社リクルート 北海道じゃらん
- (4)令和 4（2022）年 5 月 17 日許可／カムイサウルス全身復元骨格写真 1 点／「ぐんぐん 考える力を育むよみかせ きょうりゅうのお話 20」に掲載／株式会社西東社
- (5)令和 4（2022）年 5 月 19 日許可／ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格レプリカ写真 2 点／「わけあって絶滅しました。展」開催に向けた宣伝にて使用／東映株式会社

- (6)令和 4（2022）年 6 月 4 日許可／穂別博物館入口ホール写真 1 点／エアドゥ機内誌「ラポラ rapora」8 月号にて使用／有限会社パイロットパブリッシング
- (7)令和 4（2022）年 6 月 10 日許可／カムイサウルス全身復元骨格写真 1 点／「学べる大発見！最強！恐竜ペーパークラフト」にて使用／グループ・コロンブス有限会社
- (8)令和 4（2022）年 6 月 10 日許可／カムイサウルス全身骨格写真 1 点／「みんなと学ぶ小学理科 6 年」にて使用／学校図書株式会社
- (9)令和 4（2022）年 6 月 24 日許可／カムイサウルス全身骨格写真 1 点／令和 6 年度小学校教科書「新編 新しい国語 二上」中の「本はあたらしいせかいへの入り口」（小林快次・文）にて使用／東京書籍株式会社
- (10)令和 4（2022）年 6 月 29 日許可／ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真・カムイサウルス全身骨格写真・ティロサウルス生体復元模型写真 計 3 点／「ミネラ」第 78 号（7 月 27 日発売）特集企画「夏休みに行く 恐竜化石のある博物館（仮）」にて使用／エクスプレスメディア出版
- (11)令和 4（2022）年 7 月 3 日許可／カムイサウルス発掘展パネル（デジタルデータ）／旭川市科学館「カムイサウルス全身復元展示」にて展示／旭川市科学館
- (12)令和 4（2022）年 7 月 5 日許可／穂別博物館（外観・展示）写真 3 点／KADOKAWA「Walker PLUS」（web 公開）中の「全国の恐竜スポット 10 選（仮）」にて使用／株式会社 J.9
- (13)令和 4（2022）年 7 月 16 日許可／カムイサウルス全身実物化石写真 1 点／商品制作のため／RAYOCHI
- (14)令和 4（2022）年 7 月 21 日許可／穂別博物館展示資料等写真 3 点／株式会社くもん出版「恐竜化石発掘カードゲーム」にて使用／株式会社くもん出版
- (15)令和 4（2022）年 7 月 28 日許可／カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1 点／月刊「ムー」9 月号（令和 4 年 8 月 9 日発売）に掲載のため／株式会社ワン・パブリック
- (16)令和 4（2022）年 8 月 30 日許可／カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1 点・モササウルス類生体復元模型写真 1 点／AIRDO 機内誌 rapora 内 AIRDO CHANNEL にて、胆振東部地震の災害復興支援に関する記事に掲載のため／株式会社 AIRDO
- (17)令和 4（2022）年 9 月 17 日許可／カムイサウルス全身骨格写真 1 点、カムイサウルス発掘調査写真 4 点 計 5 点／NHK「ほんとにニュース道央いぶり DAY ひだか」にて使用／NHK 札幌放送局
- (18)令和 4（2022）年 9 月 17 日許可／カムイサウルス全身実物化石写真 1 点／胆地区測量設計協会創立 50 周年記念誌の挿絵として／株式会社山口技研コンサルタント
- (19)令和 4（2022）年 10 月 16 日許可／カムイサウ

ルス全身復元骨格レプリカ写真 1 点、ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格レプリカ写真 1 点・部分写真 9 点 計 11 点／書籍「作ろう！ フライドチキンの骨格標本 よくわかる恐竜と鳥の骨学入門」（株式会社 緑書房）に掲載／志賀健司（いしかり砂丘の風資料館）

(20)令和 4（2022）年 11 月 8 日許可／カムイサウルス全身実物化石写真 1 点／「北海道遺産協議会ラッピングバス」に使用／NPO 法人北海道遺産協議会

(21)令和 4（2022）年 11 月 15 日許可／カムイサウルス全身実物化石写真、カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 計 2 点／日本古生物学会（編）「古生物学の百科事典」に掲載／丸善出版株式会社

(22)令和 4（2022）年 12 月 2 日許可／展示資料写真 3 点／「北海道じゃらん 2 月号（1 月 20 日発売）」に掲載／窪田真美（株式会社リクルート北海道じゃらん 委託ライター）

(23)令和 4（2022）年 12 月 2 日許可／カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1 点／日胆地区博物館等連絡協議会「協議会ニュース 44 号」にて使用／日胆地区博物館等連絡協議会

(24)令和 4（2022）12 月 10 日許可／ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格写真 2 点／「恐竜博 2023」の広報にて使用／株式会社 NHK プロモーション

(25)令和 5（2023）年 1 月 7 日許可／カムイサウルス全身実物化石写真 1 点、博物館外観写真 1 点／「小学生からの都道府県おでかけ図鑑」に掲載／株式会社新興出版社 啓林館

(26)令和 5（2023）年 1 月 7 日許可／カムイサウルス全身実物化石写真 1 点／中学校理科 1 年「地球」単元にて化石の 1 例として使用／株式会社新興出版社 啓林館

(27)令和 5（2023）年 1 月 28 日許可／カムイサウルス・ジャポニクス全身実物化石写真 1 点／商用グッズ製作に使用／RAYOCHI

(28)令和 5（2023）年 1 月 31 日許可／むかわ竜全身骨格写真 1 点、イノセラムス・ホベツエンシス写真 1 点／ブルーバックス「生命の大進化 40 億年史 中生代編」に掲載（書籍・電子書籍として出版）／株式会社講談社

(29)令和 5（2023）年 2 月 14 日許可／むかわ竜全身骨格写真 1 点／中学校理科 1 年生の教科書内で日本の恐竜を紹介するページで使用／学校図書株式会社

(30)令和 5（2023）年 3 月 15 日許可／イノセラムス・ホベツエンシス写真 1 点／書籍「地球生命 無脊椎の興亡史」に掲載／株式会社技術評論社

IV-6 収蔵資料管理

【仁和小保管資料の管理】

実施日：令和 4（2022）年 5 月 30 日

実施場所：旧仁和小学校（むかわ町穂別仁和）

内容：後藤道治氏（元福井県恐竜博物館・当館協議委員）による保管資料の確認

対応：櫻井立ち会い

【令和 4 年度指定文化財管理（文化財パトロール）】

実施日：令和 4（2022）年 8 月 30 日

実施場所：むかわ町穂別博物館 展示室、かせき学習館 収蔵庫

内容：北海道指定文化財ホベツアラキリュウ（HMG-1、登録番号第 34 号）の管理状況の確認

調査員等：奈良智法（厚真町教育委員会）、菊地和歌子（北海道教育庁胆振教育局教育支援課主査）

立会者：松本洋（むかわ町教育委員会生涯学習課社会教育グループ）、田代雄介（同前）

対応：櫻井立ち会い

【ホベツアラキリュウ全身復元骨格の修正】

穂別博物館入口ホールに展示されているホベツアラキリュウ全身復元骨格（1 体目）の一部（胸帯・腰帯）について、最新の知見に基づいた修正を実施した。修正は佐藤たまき教授（神奈川大学）の監修の下、新村龍也学芸員（足寄動物化石博物館）の協力も得ながら、作業は有限会社ゴビサポートジャパンが実施した。

修正作業中は 1 体目を取り外し、その代わりに貸出用の 2 体目（当該部位について平成 31 年 3 月に修正完了済み）を仮置きした。

なお、修正に関する詳細は、下記に記されている（平成 30 年度の 2 体目の修正時の報告）。

佐藤たまき・仲谷英夫・新村龍也，2020. ホベツアラキリュウの肢帯の再解釈と復元骨格の改修。むかわ町穂別博物館研究報告第 35 号，p.19-32.

①1 体目を撤去・2 体目を一時設置

実施日：令和 4（2022）年 11 月 14 日・15 日

実施場所：むかわ町穂別博物館 入口ホール

対応

穂別博物館職員 櫻井、西村、阿部、吉川

穂別博物館ボランティア 中野

有限会社ゴビサポートジャパン

取材：毎日新聞社、読売新聞社、室蘭民報社、苫小牧民報社

②1 体目の修正作業

実施場所：有限会社ゴビサポートジャパン穂別工場（むかわ町穂別 110）

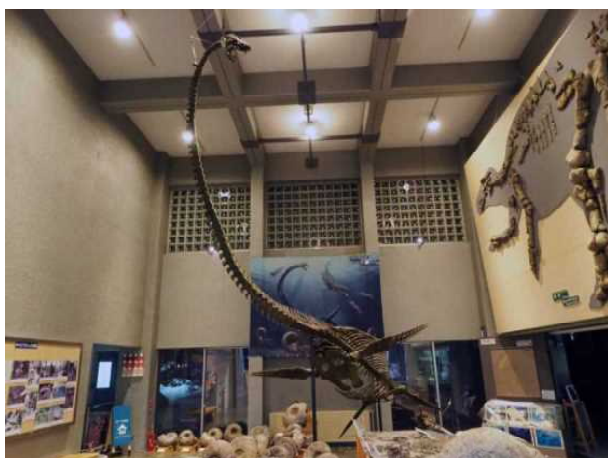
③2 体目を撤去・修正された 1 体目を再設置

実施日：令和 5（2023）年 2 月 27 日

実施場所：むかわ町穂別博物館 入口ホール

対応

穂別博物館職員 櫻井、西村、阿部、吉川
穂別博物館ボランティア 中野
有限会社ゴビサポートジャパン



ホベツアラキリュウ全身復元骨格（修正前）



ホベツアラキリュウ全身復元骨格（修正状況）



ホベツアラキリュウ全身復元骨格（1体目の撤去作業）



ホベツアラキリュウ全身復元骨格（1体目の再設置）



貸出用（2体目）の一時設置



ホベツアラキリュウ全身復元骨格（修正後）

第V章 広報活動

V-1 博物館広報活動

【ホッピーだより（博物館広報誌）】

A4 版両面印刷。博物館からのお知らせや行事予定等を掲載。穂別博物館ホームページで公開（<http://www.town.mukawa.lg.jp/2407.htm>）、町内の公共施設や学校等へ配布。

- 449 号（2022 年 4 月）「常設展 アンモナイトなどの展示変更／展示解説動画の公開 第 2 弾／中村記念館開館」
- 450 号（2022 年 5 月）「2021 年度の寄贈資料／2021 年度の主な収集資料／北海道デジタルミュージアムで資料公開」
- 451 号（2022 年 6 月）「2021 年度のクリーニング資料（1/3）モササウルス類の歯発見／コラム カムイサウルスのこれまで⑪」
- 452 号（2022 年 7 月）「2021 年度のクリーニング資料（2/3）脊椎動物化石／コラム カムイサウルスのこれまで⑫」
- 453 号（2022 年 8 月）「2021 年度のクリーニング資料（3/3）アンモナイト・二枚貝など／旭川市でカムイサウルスの展示／大阪市でティラノサウルスの展示」
- 454 号（2022 年 9 月）「カムイサウルスの発掘・研究も紹介／書籍『NHK スペシャル恐竜超世界 in Japan』出版／コラム カムイサウルスのこれまで⑬」
- 455 号（2022 年 10 月）「常設展のアンモナイト 2 点が国立科学博物館の企画展で展示／コラム カムイサウルスのこれまで⑭」
- 456 号（2022 年 11 月）「むかわ町恐竜フェスタ 2022／ゴビサポートジャパン高橋功社長 日本古生物学会貢献賞受賞／コラム カムイサウルスのこれまで⑮」
- 457 号（2022 年 12 月）「博物館ホールのホベツアラキリュウ全身復元模型 約 40 年ぶりに入れ替え／AR ホベツアラキリュウとフォスフォロサウルス」
- 458 号（2023 年 1 月）「2022 年度ハドロキッズチーム（むかわ町子ども化石くらぶ）活動報告／さっぽろ雪まつりにカムイサウルス大雪像（告知）／2022 年の調査研究などでの来館者 1」
- 459 号（2023 年 2 月）「アンモナイト アマボンデラ 北西太平洋地域から初めての発見／2023 年度むかわ町子ども化石くらぶ募集／さっぽろ雪まつりにむかわ町ブース（告知）／2022 年の調査研究などでの来館者 2」
- 460 号（2023 年 3 月）「研究報告第 38 号の内容紹介／2022 年の教育・普及活動（外部協力）」

【その他広報】

<博物館ホームページ>

博物館からのお知らせ、ホッピーだよりなどについて随時更新した。

アドレス

<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

<SNS>

令和 2（2020）年 7 月 20 日よりフェイスブック（Facebook）の公式アカウントの開設・公開。

V-2 報道会見等

なし

V-3 報道関係

【カムイサウルス】

<テレビ>

(1)令和 4（2022）年 9 月 22 日 18:40-

NHK 総合／ほっとニュース北海道「ほっとニュース道央いぶり DAY ひだか「ななまる MAP」／カムイサウルスの紹介

(2)令和 4（2022）年 9 月 26 日 16:50-

HBC テレビ／「今日ドキッ！」／奈井江町ティラノサウルスレースについてのコメント（櫻井出演）

<出版物>

(1)令和 4（2022）年 4 月 5 日／株式会社ニュートンプレス／Newton 別冊 恐竜の見た目、種類、生態がよくわかる「新・ビジュアル恐竜事典」

(2)令和 4（2022）年 6 月 1 日／株式会社情報企画／月刊イズム 6 月号（第 33 巻第 5 号通巻 357 号）／「むかわ竜と生きる」

(3)令和 4（2022）年 6 月 25 日／株式会社ぶらんとマガジン社／HO 2022.8 月号（vol.177）／カムイサウルスのバッジプレゼント

(4)令和 4（2022）年 7 月 1 日／株式会社世界文化社ワンダークリエイティブ／ワンダーランド 7 月号／「につぼんではっけん！ きょうりゅうちず」

(5)令和 4（2022）年 7 月 5 日／株式会社学研プラス／学研の図鑑 LIVE 新版「恐竜」／「サウロロフスの仲間③」

(6)令和 4（2022）年 8 月／株式会社くもん出版／恐竜化石発掘カードゲーム／カムイサウルスと穂別博物館の紹介

(7)令和 4（2022）年 8 月 5 日／株式会社西東社／ぐんぐん考える力を育むよみきかせ きょうりゅうのお話 20／「カムイサウルス・ヤマトサウルスのふしぎ」

(8)令和 4（2022）年 8 月 8 日／株式会社日経ナショナルジオグラフィック／NHK スペシャル恐竜超

世界 IN JAPAN／「1 日本の恐竜の常識を変えた世紀の発見！」

(9)令和4(2022)年8月9日／株式会社ワン・パブリッシング／月刊ムー 第44巻第9号／「日本は知られざる恐竜王国だった!!」

(10)令和4(2022)年12月6日／日胆地区博物館等連絡協議会／協議会ニュース 第44号／「基調講演 穂別の化石とカムイサウルス」

(11)令和4(2022)年12月10日／株式会社ぶらんとマガジン社／スコブル vol.45／「香山リカさん特別エッセイ」

<新聞>

(1)令和4(2022)年4月6日／読売新聞／朝／23面(地域・道南)／近況『『竜の神』むかわの力に』

(2)令和4(2022)年12月16日／北海道新聞／夕／1面／「来年2月、3年ぶりさっぽろ雪まつり 5基のデザイン発表」

(3)令和4(2022)年12月17日／苫小牧民報／3面(道内ニュース)／「3年ぶり大雪像5基設置 むかわ竜やFビレッジ」

(4)令和4(2022)年12月17日／北海道新聞／朝／33面(第1社会)／「さっぽろ雪まつり 5基発表 大雪像『BP』『カムイサウルス』」

(5)令和4(2022)年12月23日／北海道新聞／朝／14面(地域の話)／師走点描2022「むかわ竜、シマエナガ 夜にぴかぴか」

(6)令和5(2023)年1月9日／北海道新聞／朝／12面(地域の話)／「返礼品に等身大『むかわ竜』」

(7)令和5(2023)年2月2日／北海道新聞／朝／15面(地域の話)／「雪像『むかわ竜』町のPRにさっぽろ雪まつり 有志がブース」

(8)令和5(2023)年3月29日／北海道新聞／朝／28面(第2社会)／「小学教科書検定 道内ゆかり数多く 大谷選手やむかわ竜など」

【ホベツアラキリュウ】

<出版物>

(1)令和4(2022)年4月15日／株式会社アイワード／季刊アイワード 第13号(通巻359号)／「北海道の天然記念物⑤『ホベツアラキリュウ(むかわ町)』」

<新聞>

(1)令和4(2022)年4月3日／ジュニアえひめ新聞／5面(とくしゅう)／「首長竜の歯!? 松山で発見」中にて、クビナガリュウの全身復元骨格として紹介

(2)令和4(2022)年11月16日／苫小牧民報／「穂別博物館 ホベツアラキリュウ修正へ」

(3)令和4(2022)年11月18日／読売新聞／31面(地域)／「ホベツアラキリュウ 復元骨格研究成果反映へ」

【その他化石全般】

<テレビ>

(1)令和4(2022)年6月28日 7:45-

NHK 総合／「おはよう北海道」／北海道遺産「むかわ町穂別の古生物化石群」(第64号)の紹介

(2)(再放送) 令和4(2022)年7月19日 18:40-

NHK 総合／「ほっとニュース北海道道央いぶり DAY ひだか」／北海道遺産「むかわ町穂別の古生物化石群」(第64号)の紹介

<新聞>

(1)令和5(2023)年1月19日／北海道新聞／朝／26面(第4社会)／「北海道遺産 車体でPR」

【穂別博物館】

<テレビ>

(1)令和4(2022)年4月18日 18:00-

HBC テレビ／「今日ドキッ!」／香山リカさんが館内を見学

(2)令和4(2022)年9月27日 16:00-

STV テレビ／どさんこワイド「お仕事トコトン体験記」／野外調査・化石クリーニングの紹介(阿部・吉川出演)

(3)令和5(2023)年2月3日 17:15-

STV テレビ／どさんこワイド 179「街角30秒勝負」／穂別博物館・雪まつりむかわ町ブースの紹介(櫻井出演)

(4)令和5(2023)年2月7日 18:40-18:50

NHK 総合／ほっとニュース北海道 道央いぶり DAY ひだか「あったかい! 胆振」／むかわ町「町の魅力は“恐竜熱”」(櫻井出演)

(5)令和5(2023)年3月2日 22:30-23:00

NHK ワールド／Japanology Plus「Dinosaurs」／司会者ピーター・バラカン氏と小林快次教授(北海道大学総合博物館)の対談(穂別博物館内で収録)

(6)(再放送) 令和5(2023)年3月7日 4:30-5:00

NHK BS1／Japanology Plus「Dinosaurs」／同前

<ラジオ>

(1)令和4(2022)年4月11日 6時30分頃-

STV ラジオ／「北海道ライブ あさミミ!」内『アラカルト』コーナー／展示物等、取材内容の紹介

<出版物>

(1)令和4(2022)年4月1日／むかわ町／広報むかわ No.192 p.7／「2/8 穂別博物館とモンゴル国科学アカデミー古生物学研究所がオンラインで交流」

(2)令和4(2022)年4月22日／苫小牧民報社／ココッと vol.182／「近郊のレジャースポット『恐竜の息づかいを感じる博物館 むかわ町穂別博物館』」

(3)令和4(2022)年5月1日／株式会社 AIR DO／機内誌 rapora No.210／「教えて! 夢の叶え方『化石の専門家になりたい』」

(4)令和4(2022)年5月20日／株式会社リクルート／北海道じゃらん No.350・6月号／「北海道の穴場な恐竜スポット」

(5)令和4(2022)年8月1日／エスプレスメディア出版／隔月刊誌 ミネラ No.78／「夏休みに行きたい 恐竜化石のある博物館」

- (6)令和4(2022)年9月13日/光文社/女性自身 第65巻第31号/シリーズ人間「本名・中塚尚子。自分をだますのはやめました」
- (7)令和5年2月20日/株式会社リクルート/北海道じゃらん No.358・2月号/「nittanへ胆振・日高〜エリアで楽しむ! アウトドア&冬キャンプ」

<新聞>

- (1)令和4(2022)年5月2日/苫小牧民報/2面/「穂別博物館 入館者60万人達成」
- (2)令和4(2022)年5月14日/苫小牧民報/2面/むかわ町から未来へ(PR大使がまちを行く)(8)太古の歴史を感じる施設「穂別博物館、見応えたっぷり 恐竜の化石など展示」
- (3)令和4(2022)年9月8日/北海道新聞/27面(第3社会)/胆振東部地震から4年 復興への歩み着実 3町長に聞く「『むかわ竜』軸に再整備」(むかわ・竹中喜之町長)
- (4)令和4(2022)年9月22日/北海道新聞/19面(地域の話題)/「博物館建て替え来年度着工 穂別にぎわいの中心に」
- (5)令和4(2022)年9月22日/苫小牧民報/2面/「『復興の拠点』に 穂別博物館周辺エリア再整備へ新構想」
- (6)令和4(2022)年10月10日/苫小牧民報/2面/「穂別博物館と周辺エリア再整備『推進チーム設立へ』」
- (7)令和4(2022)年10月12日/北海道新聞/朝/16面(地域の話題)/「穂別地区再整備へ 庁内に専門チーム」
- (8)令和4(2022)年10月23日/北海道新聞/朝/13面(地域の話題)/ここが聞きたい「開館40年 再開発で立て替えへ『地域の化石学ぶ契機に』」
- (9)令和5(2023)年2月5日/北海道新聞/朝/2面(総合)/アングル「穂別の活気 新博物館核に-むかわ竜生かし再整備-」
- (7)令和4(2022)年8月12日/苫小牧民報/2面/「恐竜関連グッズ一堂に oh!里マルシェ」(ラヨチ紹介)
- (8)令和4(2022)年8月12日/苫小牧民報/2面/「フェスタオール商品化 RAYOCHI」(ラヨチ紹介)
- (9)令和4(2022)年11月1日/苫小牧民報/2面/「5、6日、恐竜フェスタ(むかわ)」
- (10)令和4(2022)年11月1日/北海道新聞/朝/14面(地域の話題)/「5、6日に恐竜フェスタ」
- (11)令和4(2022)年11月6日/北海道新聞/朝/15面(地域の話題)/「恐竜フェスタで家族連れ楽しむ」
- (12)令和4(2022)年11月7日/苫小牧民報/2面/「むかわでフェスタ 恐竜の世界楽しむ」
- (13)令和4(2022)年11月11日/苫小牧民報/2面/「恐竜ワールドむかわ展 ティラノサウルス出現」
- (14)令和4(2022)年11月22日/読売新聞/31面(地域)/「安平道の駅などで催し ティラノ全身骨格登場」

【外部連携等】

<新聞>

- (1)令和4(2022)年6月2日/苫小牧民報/2面/「にっぽん恐竜協議会 石川県の白山市加盟」

V-3 寄稿等

<出版物>

- (1)令和4(2022)年4月1日/北海道文化財保護協会/文化情報 vol.388/「カムイサウルス・ジャポニクス むかわ町のシンボル」(櫻井)

【恐竜ワールド関連等】

<出版物>

- (1)令和4(2022)年8月/株式会社 AIR DO/機内誌 rapora ラポラ 2022年8月 No.213/「クイズ!当てよう!カントリーサイン!!」

<新聞>

- (1)令和4(2022)年4月5日/読売新聞/朝/23面(地域・道南)/「正式名称『恐竜ホリたん』にむかわ竜 PR キャラ、公募で」
- (2)令和4(2022)年5月2日/苫小牧民報/2面/「むかわ 恐竜関連グッズ人気」(ラヨチ紹介)
- (3)令和4(2022)年5月3日/苫小牧民報/2面/「むかわ 恐竜クッキーでまち PR」(ラヨチ紹介)
- (4)令和4(2022)年6月4日/苫小牧民報/2面/「RAYOCHI 12、26にワークショップ(むかわ)」
- (5)令和4(2022)年6月13日/苫小牧民報/2面/「ラヨチ 恐竜を折り紙で(むかわ)」
- (6)令和4(2022)年6月28日/苫小牧民報/2面/「『革恐竜の先生』ワークショップ」(ラヨチ紹介)



テレビ取材対応 (23.1.19)



第73回さっぽろ雪まつり「カムイサウルス雪像」



テレビ取材対応 (鶴川高校恐竜研究同好会) (23.2.7)



第73回さっぽろ雪まつり「カムイサウルス雪像」

第Ⅵ章 管理・運営

Ⅵ-1 組 織

【博物館職員】＜令和4（2022）年度＞

＜館長＞

主幹 櫻井 和彦

＜管理担当＞

主任 干場 芽衣

窓口担当（会計年度任用職員） 谷口 信江

窓口担当（会計年度任用職員） 片山 由利絵

＜学芸担当＞

学芸員（主任） 西村 智弘

学芸補助員（会計年度任用職員） 阿部 恭子

学芸補助員（会計年度任用職員） 吉川 幸叙

【穂別博物館協議会】

＜協議会委員＞

①令和2（2020）年8月1日－

令和4（2022）年7月31日（2年間）

会長

山田 正（穂別博物館協定会＜学識経験者＞）

副会長

岡田 信一（むかわ町役場 OB＜学識経験者＞）

委員

水尾 悠起子（北海道鶴川高等学校・教諭＜学校教育経験者＞）

栗原 健一（むかわ町恐竜ワールドセンター＜社会教育関係者＞）（～令和4年2月28日）

阿部 斎木（むかわ町社会教育委員＜社会教育関係者＞）

宮田 千春（主婦＜家庭教育の向上＞）

小山内 恵子（ネイチャー研究会 in むかわ＜学識経験者＞）

後藤 道治（福井県立恐竜博物館 元・副館長＜学識経験者＞）

②令和4（2022）年8月1日－

令和6（2024）年7月31日（2年間）

会長

山田 正（穂別博物館協定会＜学識経験者＞）

副会長

後藤 道治（福井県立恐竜博物館・元副館長＜学識経験者＞）

委員

水尾 悠起子（北海道鶴川高等学校・教諭＜学校教育経験者＞）（～令和5年3月31日）

中嶋 清人（むかわ町立穂別小学校・校長＜学校教育経験者＞）（～令和5年3月31日）

岩瀬 均（北海道穂別高等学校・校長＜学校教育経験者＞）

鎌田 昌樹（むかわ町恐竜ワールドセンター＜社会教育関係者＞）

阿部 斎木（むかわ町社会教育委員＜社会教育関係者＞）

小山内 恵子（ネイチャー研究会 in むかわ＜社会教育関係者＞）

宮田 千春（主婦＜家庭教育の向上＞）

齊藤 春樹（むかわ町役場 OB＜学識経験者＞）

＜協議会開催＞

(1)令和4年度第1回

日時 令和4年10月14日 14:00-16:00

会場 穂別町民センター会議室

出席 会長・副会長・委員9名



令和4年度第1回 穂別博物館協議会（22.10.14）

【穂別博物館ボランティア組織】

令和4年度は、以下の11名が登録されている。

村上 隆（苫小牧市）

干場 芽衣（むかわ町・博物館勤務により活動停止中）

伊豆倉 正隆（札幌市）

栗原 健一（むかわ町）

杉浦 寛大（札幌市）

星野 美樹（苫小牧市）

宮田 洋介（むかわ町）

中野 益年（千歳市）

島田 一希（札幌市）

林 敬晴（苫小牧市）

小倉 百貴（日高町）（令和4年12月1日－）

VI-2 博物館周辺エリア 再整備計画

博物館周辺エリア再整備計画は、平成 30 年 3 月に策定された「博物館周辺エリア再整備基本計画」の基本方針に基づき、「むかわ町復興拠点施設等整備事業Ⅰ（いち）エリアデザイン等業務」として令和 4 年度に再開された

この間の情勢変化等を勘案し、これまでの博物館機能を維持しつつ、創造的復興・創生の象徴となるまちなか再生との連携・調和を図り、複雑化・多様化する社会課題を見据えて、既存の公共機能に新たな視点を加えた未来志向型の施設整備を行うため、業務の対象地域は、穂別博物館周辺エリアから、むかわ町穂別地域へと拡大された。

業務発注の方式は公募型プロポーザル方式とし、令和 4 年度は「基本設計」の作製を委託することとした。

<日程>

- (1)令和 4 年 9 月 29 日 公募型プロポーザル選定委員会委員の指名（櫻井任命）
- (2)令和 4 年 10 月 5 日 第 1 回プロポーザル選定委員会
- (3)令和 4 年 10 月 6 日 実施要領等の公示
- (4)令和 4 年 10 月 17 日 参加表明書の提出
- (5)令和 4 年 10 月 20 日 第 2 回プロポーザル選定委員会
- (6)令和 4 年 11 月 2 日 提案書の提出
- (7)令和 4 年 11 月 7 日 第 3 回プロポーザル選定委員会
- (8)令和 4 年 11 月 9 日 提案者によるプレゼンテーション、第 4 回プロポーザル選定委員会、最適提案者の決定

<最適提案者>

株式会社 船場（東京都港区）

<成果品>

令和 5（2023）年 3 月 31 日 納品



基本設計成果品

VI-3 新型コロナウイルス 感染症対策

世界中および日本国内で感染が拡大している新型コロナウイルス（COVID-19）による感染症のさらなる感染拡大防止のため、穂別博物館は下記の対応を行った。

【来館者の安全対策について】

(1)令和 4（2022）年 7 月 16 日～

来館者個人情報取得（個人票の記入）を廃止し、北海道新型コロナ通知システム、厚労省新型コロナ通知システム（COCOA）への登録を来館者各自へ依頼する形に変更した。

(2)令和 4（2022）年 11 月 17 日

システムの運用停止に伴い、通知システムへの登録依頼を終了

(3)令和 5（2023）年 3 月 13 日～

来館者のマスク着用は個人の判断に変更。その他の安全対策は継続。



新型コロナ対策 掲示変更前（-22.7.14）



新型コロナ対策 掲示変更（22.7.15-）

VI-4 施設管理等

VI-4-1 施設管理

特記事項なし

VI-4-2 カムイサウルス発掘現場管理

(1)発掘現場の整備

令和4(2022)年6月3日 株式会社池田重工業
化石体験学習等の利便性の向上を図るため、カムイサウルス発掘現場の整備を実施した。



カムイサウルス発掘現場整備

(2)落石防止ネットの補修

令和4(2022)年11月26日・27日 株式会社池田重工業

カムイサウルス発掘現場の安全性の向上のため、落石防止ネットの補修を実施した。



カムイサウルス発掘現場 落石防止ネット（補修後）

VI-4-3 学習用地管理

(1)学習用地の水洗

日程：令和4(2022)年6月3日午前

場所：学習用地

内容：化石体験のための整備

対応：西村・阿部・吉川

VI-4-4 企業による寄贈

(1)株式会社池田重工業

穂別博物館の景観の向上のため、株式会社池田重工業（むかわ町穂別 554）により、博物館前庭の花壇にミニヒマワリが寄贈された。



株式会社池田重工業「ミニヒマワリ寄贈」

(2)遠藤建設株式会社

感染症の拡大予防をめざして、遠藤建設株式会社（むかわ町穂別 81-10）により、博物館のトイレに非接触型のハンドソープディスペンサーが寄贈された。



遠藤建設株式会社「ハンドソープディスペンサー寄贈」

VI-5 協力団体

特記事項なし

VI-6 外部連携

VI-6-1 博物館協会等

【日胆地区博物館等連絡協議会】

(1)令和4年度 総会

会期 令和4年5月25日 10:30-15:30

会場 白老町コミュニティセンター（白老町）

内容 令和3年度活動報告、令和4年度活動計画、
研修会「作品撮影における光のコントロール」

出席 櫻井

(2)令和4年度 研修会

会期 令和4年11月11日 10:30-15:00

会場 日高町道の駅樹海ロード日高、沙流川河原
（日高町）

内容 ①基調講演「穂別の化石とカムイサウルス」
（講師：櫻井）

②野外巡検「沙流川流域の石の観察」（講師：
東豊土 日高山脈博物館・学芸員）

出席 櫻井

(3)令和4年度 館長等会議

会期 令和5年2月14日 13:30-

会場 苫小牧市美術博物館（苫小牧市）

内容 令和4年度活動報告・令和5年度活動計画
の事前確認

出席 櫻井



日胆地区博物館等連絡協議会「総会」(22.5.25)



日胆地区博物館等連絡協議会「研修会」(22.11.11)

【北海道博物館協会】

(1)第60回北海道博物館大会

会期 令和4(2022)年7月14日

会場 士別市

出席 西村学芸員

対応内容 ポスター発表

VI-6-2 文化遺産・恐竜関係協議会

【北海道恐竜・化石ネットワーク研究会】

令和4年度より、従来の5自治体（むかわ町、三笠市、小平町、中川町、足寄町）に加えて7自治体（札幌市、浦幌町、沼田町、八雲町、枝幸町、黒松内町、別海町）が加盟し、計12自治体となった。事務局は北海道総合政策部地域創生局地域政策課。

<会議等>

(1)令和4年度第1回研究会

会期 令和4年6月1日 15:00-17:00

会場 リモート開催

内容 地域活性化に向けた取組、話題・情報提供、
オリジナルフレーム切手の制作

出席 櫻井

(2)令和4年度第2回研究会

会期 令和4年12月21日 15:00-17:00

会場 リモート開催

内容 今年度の取り組み報告、「ほっかいどう恐
竜・化石カレンダー」の制作、話題・情報提供

出席 櫻井

【にっぽん恐竜協議会】

日本国内における恐竜化石産出自治体の包括的な連携のもと、人的・知的財産や特色ある資源の活用を図り、地域づくり、教育・文化の振興、学術・研究、観光、地域交流、災害応援など多様な分野で相互に協力し、活力ある地域の形成及び発展に寄与することを目的として、平成30年に設立された。

現在の加盟自治体は、発足当初からの、北海道むかわ町、岩手県久慈市、群馬県神流町、福井県勝山

市、兵庫県丹波市、兵庫県丹波篠山市、徳島県勝浦町、熊本県御船町の8自治体に加え、今年度に石川県白山市が加わり、計9自治体となった。

会長・事務局は、令和2年度より、むかわ町が担当している。

<会議等>

(1)令和4年度につぼん恐竜協議会総会

会期 令和4年5月27日 10:00-11:00

会場 リモート開催（むかわ町道の駅四季の館）

内容 令和3年度事業報告、令和3年度収支決算報告、監査報告、規約改正、令和4年度事業計画、令和4年度収支予算、役員改選

出席 櫻井



令和4年度につぼん恐竜協議会「総会」(22.5.27)

【北海道遺産協議会】

北海道遺産構想は「次の世代に引き継ぎたい北海道の宝物を探し、守り、育て、活用する」ことを目的に1997年に始まり、2001年に第1回選定25件、2004年に第2回選定27件、北海道命名150年を迎える2018年に第3回選定が実施されて15件が選定され、現在67件の北海道遺産が登録されている。事務局はNPO法人北海道遺産協議会。

むかわ町は第3回選定において「むかわ町穂別の古生物化石群」(第64号)として、カムイサウルスを含む、むかわ町穂別から産出している化石群一式を対象に、平成30(2018)年11月1日に登録された。

<会議等>

(1)令和4年度通常総会

会期 令和4年6月29日 15:00-17:00

会場 北海道庁本庁舎9階 職員監会議室(札幌市)

内容 令和3年度事業報告、令和3年度収支決算、役員の改選、令和4年度事業計画、令和4年度収支予算

出席 櫻井

<運営協力>

(1)「北海道遺産協議会ラッピングバス」

北海道遺産の周知を図るため製作される「北海道遺産協議会ラッピングバス」に、カムイサウルス全

身実物化石写真を提供した(令和4年11月8日提供)。バスの完成は令和4年11月30日。



北海道遺産協議会「総会」(22.6.29)

【いぶり五大遺産】

北海道胆振総合振興局では、管内に所在する地域資源である、ジオパーク、アイヌ文化、縄文遺跡群、むかわ竜、炭鉄港を「いぶり五大遺産」と位置づけて魅力発信を行っている。

むかわ町の「むかわ竜(カムイサウルス)」は、平成29年に「胆振四大遺産」の1つとして登録された(現在は、「いぶり五大遺産」を構成する地域資源の1つ)。

<経緯>

平成25年 胆振三大遺産(ジオパーク、アイヌ文化、縄文文化)の制定

平成29年 胆振四大遺産(ジオパーク、アイヌ文化、縄文文化、むかわ竜) ※「むかわ竜」の追加

令和元年 いぶり五大遺産(ジオパーク、アイヌ文化、縄文文化、むかわ竜、炭鉄港) ※「炭鉄港」の追加

<会議等>

(1)いぶり五大遺産関係者意見交換会

会期 令和4年10月4日 15:00-

会場 北海道胆振総合振興局 3階大会議室B

内容 各団体の情報共有、振興局の取組報告、今後の展望

出席 櫻井(リモート参加)

VI-6-3 連携協定等

【北海道大学総合博物館】

特記事項なし

【モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所】

(1)むかわ町との MoU に基づく資料の借用

借用資料：モンゴル産サウロロフス頭骨化石レプリカ（ゴビサポートジャパン保管）

借用期間：令和4年7月12日～



サウロロフス頭骨レプリカの展示（常設展示室）

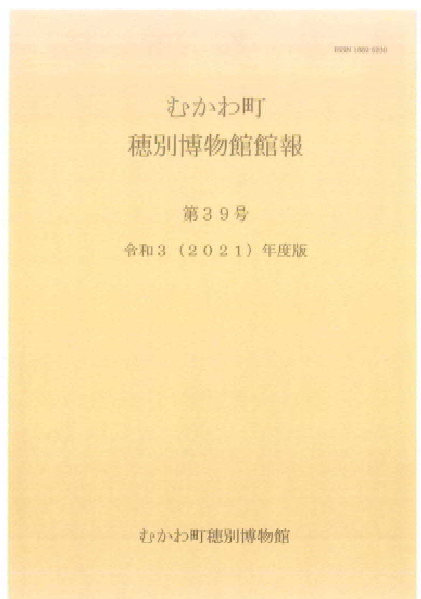
VI-7 刊行物

【むかわ町穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230

第39号：令和3（2021）年度版

39頁、令和5（2023）年3月発行



むかわ町穂別博物館館報（第39号）

VI-8 歳入・歳出

【歳入】

区分		有料入館者数	観覧料
一般	個人	13,684	4,105
	団体	397	79
	割引	2	1
学生	個人	3,816	382
	団体	215	11
	割引	0	0
小計		18,114	4,578
諸収入	物品販売代		20
	体験学習料		5
小計			25
合計			4,603

（単位：人・千円）

【歳出】

費目	金額
報酬	6,680
職員手当等	1,233
共済費	1,142
報償費	50
旅費	1,075
需用費	9,362
役務費	269
委託料	13,792
使用料及び賃借料	704
工事請負費	1,837
備品購入費	1,537
負担金補助及び交付金	170
補填補償及び賠償金	0
博物館費合計	37,851

（単位：千円）

VI-9 利用案内

【開館時間】

午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12 月 31 日・1 月 5 日。

※7、8 月の夏期休暇期間は無休。

【観覧料】

個人：一般 300 円・学生 100 円

団体：一般 200 円・学生 50 円

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10 人以上

【減免】

「博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町博物館設置条例、第 4 条）」が、「教育委員会は、特別の理由があると認めたときは、観覧料を減免することができる（同条例、第 5 号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町博物館施行規則第 4 条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

（福祉目的）

3) 老人福祉法(昭和 38 年法律第 133 号)第 15 条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法(昭和 35 年法律第 37 号)第 19 条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

（公益目的）

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

第Ⅶ章 観覧者状況

Ⅶ-1 利用状況

【常設展示観覧者】

平成 4 (2022) 年 4 月～令和 5 (2023) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館
4	1,248	311	1,559	342	1,901	26
5	2,368	760	3,128	508	3,636	25
6	1,187	340	1,527	297	1,824	26
7	2,003	618	2,621	435	3,056	29
8	3,106	1,332	4,438	700	5,138	29
9	1,436	324	1,760	316	2,076	25
10	1,335	361	1,696	295	1,991	25
11	877	196	1,073	231	1,304	23
12	248	56	304	71	375	26
1	187	46	233	45	278	21
2	326	67	393	80	473	23
3	578	134	712	174	886	26
計	14,899	4,545	19,444	3,494	22,938	304

(単位：人・日)

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

幼児：小学生未満

【博物館特定入館日】

下記を特定入館日とし、むかわ町民の観覧料を無料とした（「北海道みんなの日」は後述）。

<博物館開館記念日関連事業>

7 月 20 日の穂別博物館開館記念日に関連して、令和 4 (2022) 年 7 月 18 日～7 月 24 日の 7 日間を町民無料入館日とした。

<国際博物館の日>

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977 年）にて制定され、日本では平成 14 年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5 月 18 日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした

<化石の日>

2017 年に国際古生物学協会（International Palaeontological Association）によって、化石や古生物学の普及のきっかけを目的として「国際化石の日」（International Fossil Day）が 10 月第 2 週末に制定されたことを受け、2018 年に日本古生物学会によって 10 月 15 日が日本国内における「化石の日」として制定された。

当館は古生物を展示する博物館としてその趣旨に賛同して、今年度以降「化石の日」を博物館設置条例第 4 条（別表）に基づき、当日を町民無料入館の日とした。

<北海道みんなの日>

松浦武四郎が明治 2 (1868) 年に明治政府に対し

て「北加伊道」という名称を提案し、現在の「北海道」の名称の元になったことを記念して、平成 29 年に 7 月 17 日が「北海道みんなの日（道みんなの日）」に制定されたのを受け、当日を北海道民の無料入館日とした。

令和 4 年度については、北海道からの依頼により来館者の全員を無料とした。

<博物館特定入館日に伴う町民無料入館>

(単位：人)

実施日	行事名	一般	学生	計
R04.5.18	国際博物館の日	0	0	0
7.17	北海道みんなの日	243	73	316
7.18-24	博物館開館記念日	9	4	13
9.19	敬老の日	0	1	1
10.15	化石の日	1	0	1
11.3	文化の日	0	0	0
11.23	勤労感謝の日	1	0	1
R05.1.9	成人の日	1	0	1
計	14 日	255	78	333

※7/17「北海道みんなの日」は、町民に限定せず当日に来館した総数

【町内児童生徒に対する入館料免除】

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。（平成 14 年度より実施）

無料観覧者：計 26 人

4 月：7 人

5 月：5 人

6 月：2 人

7 月：4 人

8 月：2 人

9 月：0 人

10 月：0 人

11 月：0 人

12 月：6 人

1 月：0 人

2 月：0 人

3 月：0 人

【累計 60 万人達成】

開館以来の累計入館者数（幼児を除く）が 60 万人に達したことを記念して、60 万人目の観覧者に記念品を贈呈した。

実施日 令和 4（2022）年 5 月 1 日

該当者 小学生・幼児の 2 名（小樽市からの訪問者）

記念品 にっぽん恐竜協議会（令和 3 年度作成）
マスキングテープ（2 種類 1 個ずつ）

対応 記念撮影、新聞社による取材

記念事業 その後の来館者に、上記マスキングテープを 1 組 1 個で 100 組に配布。



累計 60 万人達成 記念撮影



60 万人達成記念のマスキングテープ

第Ⅷ章 施設の沿革

Ⅷ-1 沿革

むかわ町穂別博物館は、昭和 57（1982）年に開設され現在に至っている。

昭和 50（1975）年に発見された長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本が契機となり設置計画が検討された当初は「穂別町郷土資料館」との名称だったが、建設計画では「穂別町立博物館」として名称変更されている。

当博物館では「本町（旧 穂別町）で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う総合博物館として運営していたが、約 10 年にわたる博物館活動の結果、自然史系資料の蓄積量と人文系資料の保存等に要する作業量に大きな差が生じ、活動方針の変更が余儀なくなった。

そこで活動方針を「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」ことに変更した。

ここではその経緯を記録し、今後の活動等の充実と強化に努めていきたい。

なお、当博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されている。

Ⅷ-1-1 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

【穂別町郷土資料館建設の目的】

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

＜昭和 55（1980）年 11 月 26 日＞

【展示更新の基本的考え方】

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

＜平成 2（1990）年 6 月 27 日＞

【市町村合併による名称変更】

平成 18（2006）年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

Ⅷ-1-2 沿革

*本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。

・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。

・首長竜：「発掘調査団」の固有名称として使用。

・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。

・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。

*名称等は、当時のまま表記してある。

昭和 50 (1975) 年

6 月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

昭和 51 (1976) 年

9 月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

昭和 52 (1977) 年

2 月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鰭の一部であると確認された。

7 月 5-8 日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

昭和 53 (1978) 年

5 月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始

11 月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和 54 (1979) 年

3 月 5 日：「首長竜化石骨」が穂別町指定文化財第 2 号に指定される。（平成元年 4 月 1 日より、「ホベツアラキリュウ化石骨」と呼称）

昭和 55 (1980) 年

10 月 16 日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和 56 (1981) 年

3 月 13 日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

7 月-12 月：博物館建設工事

9 月 1 日：鈴木茂学芸員就任（昭和 60 年 3 月 31 日）

昭和 57 (1982) 年

1 月 16 日：長頸竜復元作業開始

3 月-6 月：博物館展示工事

7 月 20 日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）

8 月 26 日：「博物館協議会」発足

11 月 1 日：北海道博物館協会加入

12 月 19 日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開

12 月 19 日-1 月 23 日：特別展(第 1 回)「よみがえるクビナガリュウ」

昭和 58 (1983) 年

3 月 2 日：博物館法による登録博物館となる（北博登第 28 号）

3 月 28 日：「博物館協力会」設立

4 月 1 日：日本博物館協会加入

4 月 28 日：菅原康次（第二代）館長就任

7 月 22 日-8 月 7 日：収蔵資料展（第 1 回）「地図展」

8 月 1 日：全国科学博物館協議会加入

11 月 1 日-3 日：収蔵資料展（第 2 回）「こけし展」

昭和 59 (1984) 年

2 月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊

3 月 27 日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始

6 月 14 日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成

11 月 1 日-4 日：収蔵資料展（第 3 回）「古い写真・古い文書展」

12 月 1 日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和 60 (1985) 年

3 月 30 日：「穂別町立博物館館報」刊行開始

5 月 1 日：地徳力学芸員就任（平成 11 年 3 月 31 日）

11 月 1 日-10 日：特別展（第 2 回）「北海道一億年」

昭和 61 (1986) 年

10 月 21 日-11 月 9 日：特別展（第 3 回）「穂別の自然」

昭和 62 (1987) 年

1 月 1 日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）

7 月 28 日-8 月 9 日：特別展（第 4 回）「アンモナイトの系図」

昭和 63 (1988) 年

7 月 17 日：第三展示室（保存庫）完成

8 月 23 日-9 月 4 日：特別展（第 5 回）「穂別のカメラ化石」

10 月 6 日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元 (1989) 年

6 月 30 日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表

7 月 18 日-8 月 20 日：特別展（第 6 回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」

9 月 29 日-10 月 6 日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

平成 2 (1990) 年

7 月 23 日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館

8 月 18 日-9 月 16 日：特別展（第 7 回）「戦争と穂別」

9 月 3 日-5 日：レイド、M.G.氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館

12 月 31 日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成 3 (1991) 年

4 月 1 日：佐藤稔（第七代）館長就任

4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業
平成4(1992)年
2月1日：展示更新工事開始
4月23日－25日：カー、P.J.氏(アルバータ州ティレル古生物学博物館)来館
4月29日：展示更新完了、一般公開再開
平成6(1994)年
4月1日：野田藤雄(第八代)館長就任(教育長兼任)
4月1日：川上源太郎学芸員就任(一平成10年3月31日)
平成7(1995)年
7月15日－9月12日：川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
8月12日：かせき学習館完成
平成8(1996)年
7月27日－28日：96北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
10月6日：大江美津夫(第九代)館長就任
平成9(1997)年
7月6日、7月10日－8月31日：クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
平成10(1998)年
4月1日：櫻井和彦学芸員就任
6月11日：星功(第十代)館長就任
8月11日－8月31日：特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
平成11(1999)年
1月1日：山田正(第十一代)館長就任
5月29日：入館者30万人突破記念事業
8月1日－8月31日：特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
10月5日－11月28日：特別展(第11回)「穂別の自然」
平成12(2000)年
8月1日－8月31日、9月14日－10月1日：特別展(第12回)「穂別の石・川原の石から見た穂別」
9月14日－10月1日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
平成13(2001)年
8月1日－8月25日：特別展(第13回)「穂別町立博物館の20年～クビナガリュウとともに～」
平成14(2002)年
4月28日－5月17日：特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメ～海の穂別からリクガメ化石の発見～」
7月1日－21日：特別展(第15回)「穂別町立博物館の20年～クビナガリュウとともに～」(再公開)
7月20日：開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
7月27日－8月9日：博物館協力会企画展「穂別の化石」
8月31日－9月27日：特別展(第16回)「穂別

のカメ化石～恐竜時代のウミガメとリクガメ」
平成15(2003)年
1月1日：清川博之(第十二代)館長就任
7月20日－8月31日：特別展(第17回)「穂別を泳いだモササウルス」
11月1日－1月31日：特別展(第18回)「虫とくらし」(協力：北海道開拓記念館)
平成16(2004)年
7月17日－8月31日：特別展(第19回)「クジラとデスモスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
10月30日－12月12日：特別展(第20回)「火山と地震～佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
平成17(2005)年
7月16日－8月31日：特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
10月29日－12月18日：特別展(第22回)「絵はがきは語る～旅の思い出・昔のまちなみ～」(協力：北海道開拓記念館)
平成18(2006)年
3月27日：「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町穂別博物館」と改称
3月27日：本多廣行(第十三代)館長就任
7月15日－9月3日：特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
10月28日－12月17日：特別展(第24回)「むかわの自然～山と干潟の生き物たち～」
平成19(2007)年
4月1日：柏恵一(第十四代)館長就任
7月21日－9月2日：特別展(第25回)「むかわの一億年～化石や石が語る五つの海」
11月3日－12月2日：特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ～穂別の炭鉱と鉱山の歴史～」
平成20(2008)年
7月19日－8月31日：特別展(第27回)「海へ帰った動物たち～穂別のセキツイ動物の秘密～」
11月1日－12月7日：特別展(第28回)「穂別D遺跡～一万年前の人々のくらし～」
平成21(2009)年
7月18日－9月30日：特別展(第29回)「穂別海竜博物館～穂別を泳いでいた海竜たち～」
平成22(2010)年
2月6日－5月30日：特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」
7月17日－10月31日：特別展(第31回)「白亜紀ウミガメ化石展」
平成23(2011)年
3月19日－5月29日：特別展(第32回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
4月1日：今莊光男(第十五代)館長就任
7月23日－10月30日：特別展(第33回)「歯のかたち～クビナガリュウ vs モササウルス～」
12月3日：「モササウルス国際シンポジウム」
平成24(2012)年

4月－平成25(2013)年3月：穂別産恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査 書類申請準備
 12月25日－平成25(2013)年3月6日：むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託
 平成25(2013)年
 4月1日：阿部勉（第十六代）館長就任
 9月2日－10月5日：穂別産恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査（第一次発掘）
 平成26(2014)年
 9月1日：「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力協定書」の締結
 9月4日－9月30日：穂別産恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査（第二次発掘）
 平成27(2015)年
 4月1日：加藤英樹（第十七代）館長就任
 4月1日：西村智弘学芸員就任＜平成21－25年普及員（嘱託職員）、平成26年学芸員（嘱託職員）＞
 9月4日：累計来館者数50万人達成記念事業
 9月12日－9月30日：穂別恐竜化石（カムイサウルス、2017年1月にむかわ竜と命名）発掘調査（第三次発掘）
 平成28(2016)年
 4月1日：田口博（第十八代）館長就任
 7月16日－11月6日：特別展（第34回）「モササウルス展」
 7月30日－9月18日：穂別恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査（第四次発掘）
 平成29(2017)年
 4月1日：むかわ町指定登録文化財第4号－10号が指定される
 9月29日：ホベツアラキリュウ化石骨（HMG-1）が北海道指定天然記念物として指定される（登録番号第34号）
 平成30(2018)年
 3月31日：博物館周辺エリア再整備基本計画策定
 4月1日：櫻井和彦（第十九代）館長就任（元・学芸員）
 5月31日：「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町との連携・協力に関する覚書」の取り交わし
 9月6日：平成30年北海道胆振東部地震発生（むかわ町穂別は震度6強）。穂別博物館臨時休館（－9月29日）
 11月1日：「むかわ町穂別の古生物化石群」が北海道遺産に認定される（第64号）
 11月11日：むかわ町穂別博物館内に北海道大学総合博物館古生物学研究分室の開設
 平成31・令和元(2019)年
 8月23日：「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力協定」調印
 9月6日：穂別産恐竜化石記載論文発行、新属新種「カムイサウルス・ジャポニクス」と命名
 令和2(2020)年
 3月1日－31日：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館

4月18日－5月31日：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館
 8月27日：カムイサウルスがむかわ町指定文化財に登録（第11号）
 9月1日：モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所とむかわ町の相互協力協定覚書（MoU）を締結
 令和3(2021)年
 5月15日－7月11日：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館
 8月28日－9月30日：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館
 令和4(2022)年
 1月26日－2月20日：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館
 5月1日：累計来館者数60万人達成
 令和5(2023)年
 2月27日：ホベツアラキリュウ全身復元骨格（博物館入口ホール）の修正・再設置



開館当時の穂別博物館（1982年）



現在の穂別博物館外観

第Ⅸ章 施設の概要

Ⅸ-1 施設規模等

【町立博物館】

所在地 北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

建築構造 鉄筋コンクリート平屋建

建築面積 1,100 m²

常設展示室 372.88 m²

特別展示室 99.08 m²

収蔵庫 85.56 m²

事務室 40.50 m²

研究室 31.50 m²

整理室 29.92 m²

学習展示室 184.75 m²

書庫 35.05 m²

共用部門 219.76 m²

工期 昭和 56 年度－昭和 57 年度

開館 昭和 57 年 7 月 20 日

総事業費 362,165,000 円

展示更新

①平成 3 年度－平成 4 年度：博物館展示更新

工事 (99,910,000 円、消費税込)

②平成 5 年度：マルチスライドイメージソフ

ト制作 (6,890,700 円、消費税込)

③平成 21 年度：展示映像機器整備「太古の海
ークビナガリュウからのメッセージー」

(4,116,000 円、消費税込)

【かせき学習館】

所在地 北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 2

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89 m²

事務室 : 56.70 m²

作業室 : 56.70 m²

書庫 : 14.04 m²

レプリカ室 : 12.15 m²

処理室 : 12.15 m²

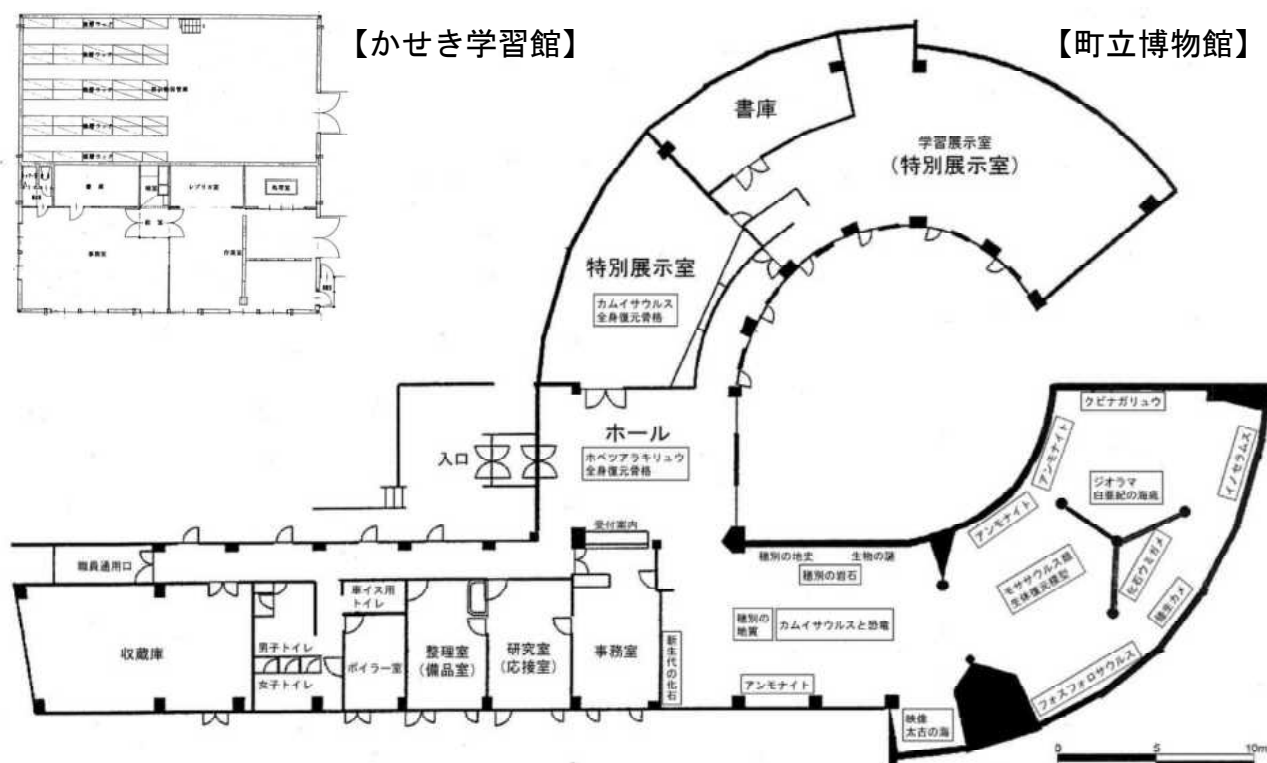
展示物保管庫 : 162.00 m²

共用部門 : 12.15 m²

工期 平成 7 年度

総事業費 57,092,900 円 (消費税込)

Ⅸ-2 施設平面図



むかわ町穂別博物館館報

第 40 号

令和 4（2022）年度版

発行 2024 年 3 月 20 日

発行者 むかわ町穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

電話・ファックス 0145-45-3141

印刷 清文堂印刷株式会社

北海道勇払郡むかわ町美幸 1 丁目 12

電話 0145-42-2118